ONKYO

CD レシーバー

CR-D2

取扱説明書



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

基　本　編

応　用　編

主な特長

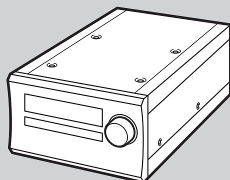
■アルミサイドパネル、1.2mm 厚の天カバーを採用
■音質面でのカラーレーションを最小限に抑えた音質用コンデンサーを採用
■金メッキフロント端子、金メッキスピーカー端子装備
■デジタル変換エラーのない超高精度な VL Digital 技術を搭載
■VLSC* 搭載（CD およびデジタル入力音声信号に対応）
■高品位 Wolfson 社製 192kHz/24bit D/A コンバーター搭載
■リニア PCM、MP3 による CD-R/RW の再生にも対応
■40 局プリセット FM チューナー
■オーディオクオリティの大容量コンデンサー、銅バスプレートなど厳選されたパーツ群
■光デジタル端子入力 1/ 出力 1、アナログ端子入力 3/ 出力 2、サブウーファープリアウト端子 1 装備
■フロントパネルに 3.5mm ステレオミニ端子入力 1/ 出力 1 装備
■DS-A1XP との接続に対応

＊VLSC（Vector(ベクター) Linear(リニア) Shaping(シェーピング) Circuitry(サーキットリィ)）は、オンキヨー株式会社の登録商標です。

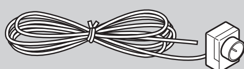
箱の中身を確かめる

製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。

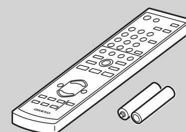
●製品本体（1）



● FM 室内アンテナ（1）
FM 放送を受信するアンテナです。



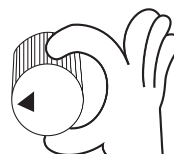
●リモコン― RC-662S（1）
●単 3 乾電池（2）



●取扱説明書（本書 1） ●保証書（1） ●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1） ●ユーザー登録カード（1）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。



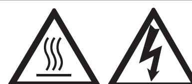
誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。



高温注意　感電注意

⊘記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。



分解禁止　ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。



電源プラグをコンセントから抜く　必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない



分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない



禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  (本機の天面、横から 20cm 以上、背面から 10cm 以上のスペースをあける)
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない



水場での使用禁止



水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない



禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

■電源プラグは定期的に掃除する


必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない


禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない

■長時間音がひずんだ状態で使わない


禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ディスク挿入口に手を入れない


指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない


禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない


禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない


接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない


禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない


接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない


禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない


禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける


注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する


必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する


必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない


禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない


禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く


電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む


必ずする

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない


ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く


電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意


高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する


必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない


禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない


禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす


電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない


禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

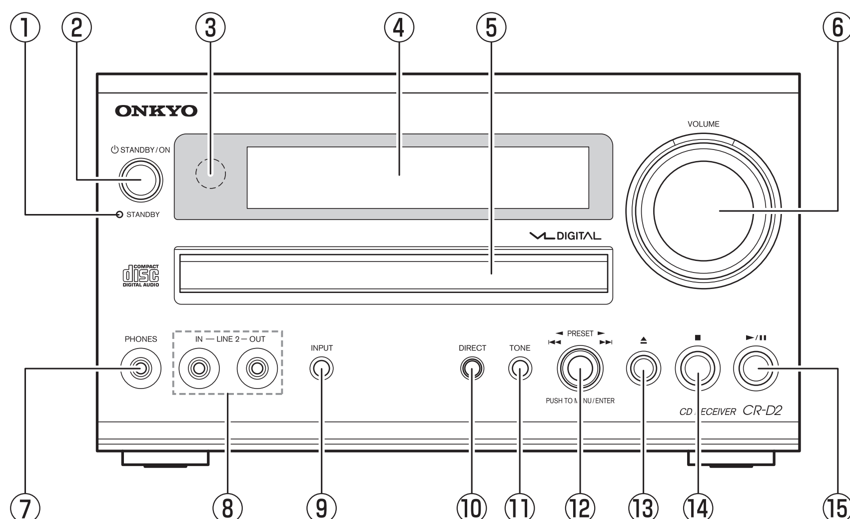
■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた“やわらかい”布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔 〕内のページに主な説明があります。



① **STANDBY(スタンバイ) インジケーター**〔22、23〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

② **STANDBY(スタンバイ)/ON(オン) ボタン**〔23、45、50、52〕
電源のスタンバイ / オンを切り換えます。

③ **リモコン受光部**〔13〕
リモコンからの信号を受信します。

④ **表示部**
次ページをご覧ください。

⑤ **CD トレイ**〔36〕
CD をセットします。

⑥ **VOLUME(ボリューム) つまみおよびインジケーター**〔23〕
音量を調節します。本機の電源を入れると、つまみの上のインジケーターが点灯します。

⑦ **PHONES(フォーンズ) 端子**〔23〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑧ **LINE(ライン) 2（IN(イン)/OUT(アウト)）端子**〔21〕
メモリープレーヤーなどのポータブル機器を接続します。

⑨ **INPUT(インプット) ボタン**〔23、24、27、29〕
聞くソースを選びます。

⑩ **DIRECT(ダイレクト) ボタン**〔25〕
ダイレクトモードで聞くときに押します。ダイレクト機能が働いているときは、ボタンのまわりのインジケーターが点灯します。

⑪ **TONE(トーン) ボタン**〔25〕
低音、高音を調整します。長押しをすると、S.BASS(スーパーバス)機能を設定することができます。

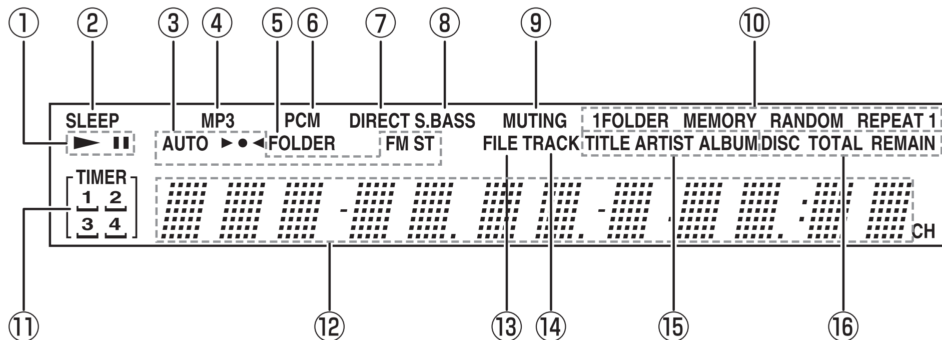
⑫ **マルチジョグダイヤル**〔29、36〕
登録した放送局や CD または MP3 CD の再生する曲を選びます。
編集や設定をする時、項目の選択をします。押すと各設定を確定します。

⑬ **⏏(オープン/クローズ) ボタン**〔36〕
CD トレイを開閉します。

⑭ **■(ストップ) ボタン**〔36、52〕
CD の再生を停止します。

⑮ **►/❚❚(プレイ/ポーズ) ボタン**〔36〕
CD の再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

表示部



① **CD 再生表示**
CD の再生状態を表示します。

② **SLEEP（スリープ）表示**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

③ **FM 受信情報**
FM 受信時の情報を知らせます。

④ **MP3 表示**
MP3 CD を挿入しているときに点灯します。

⑤ **FOLDER（フォルダー）表示**
MP3 CD のフォルダー番号が表示されているときに点灯します。

⑥ **PCM 表示**
デジタル入力端子から入ってきた信号が PCM のときに点灯します。
信号が PCM でない場合や unlock（アンロック）状態のときは点滅します。

⑦ **DIRECT（ダイレクト）表示**
ダイレクト機能が働いているときに点灯します。

⑧ **S.BASS（スーパーバス）表示**
スーパーバス設定時に点灯します。

⑨ **MUTING（ミューティング）表示**
ミューティングが働いているときに点滅します。

⑩ **再生モード表示**
1 FOLDER（フォルダ）：1 フォルダー再生時に点灯します。
MEMORY（メモリー）：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RANDOM（ランダム）：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT（リピート）：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1：1 曲リピート再生時に点灯します。

⑪ **TIMER（タイマー）表示**
タイマーのセット状態を表示します。
TIMER（タイマー）：タイマーを設定したときに点灯します。
␣：タイマー録音設定時に点灯します。
数字：タイマー 1 ～ 4 設定時に点灯します。

⑫ **多目的表示部**
再生時間や名前などを表示します。

⑬ **FILE（ファイル）表示**
MP3 CD のファイル番号が表示されていているときに点灯します。

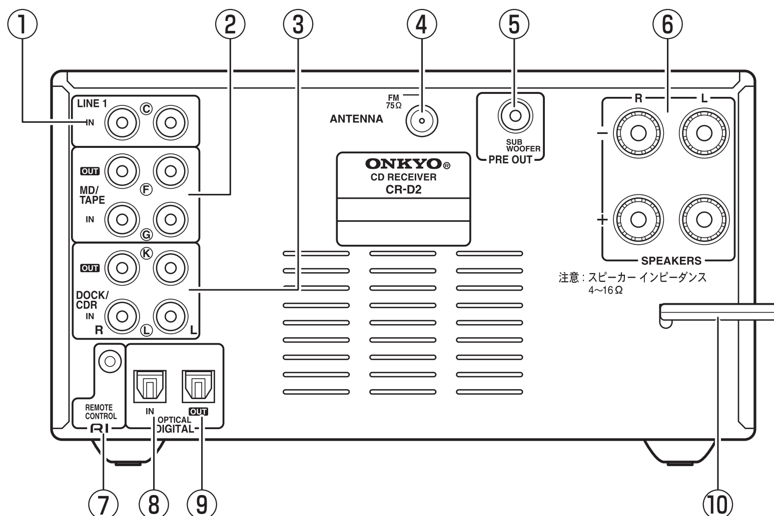
⑭ **TRACK（トラック）表示**
トラック番号が表示されていているときに点灯します。

⑮ **TITLE（タイトル）/ARTIST（アーティスト）/ALBUM（アルバム）表示**
タイトル名、アーティスト名、アルバム名が表示されているときに点灯します。

⑯ **DISC（ディスク）/TOTAL（トータル）/REMAIN（リメイン）表示**
ディスクや曲の総合計時間や経過時間、残り時間などを表示するときに点灯します。

各部の名前と主な働き

後面パネル



① LINE 1 IN 端子
テレビやフォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなどの外部機器の音声出力を接続する端子です。

② MD/TAPE IN/OUT 端子
MD レコーダーやテープデッキを接続する端子です。

③ DOCK/CDR IN/OUT 端子
オンキヨー製 RIドック（リモートインタラクティブドック）を接続する端子です。IN 端子に接続します。CD レコーダーや録音機器を接続することもできます。

④ ANTENNA（FM75 Ω）端子
付属の FM 室内アンテナまたは、FM 屋外アンテナを接続する端子です。

⑤ SUBWOOFER PRE OUT 端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

⑥ SPEAKERS 端子
付属のスピーカーを接続する端子です。

⑦ RI REMOTE CONTROL 端子
RI 端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RI ケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

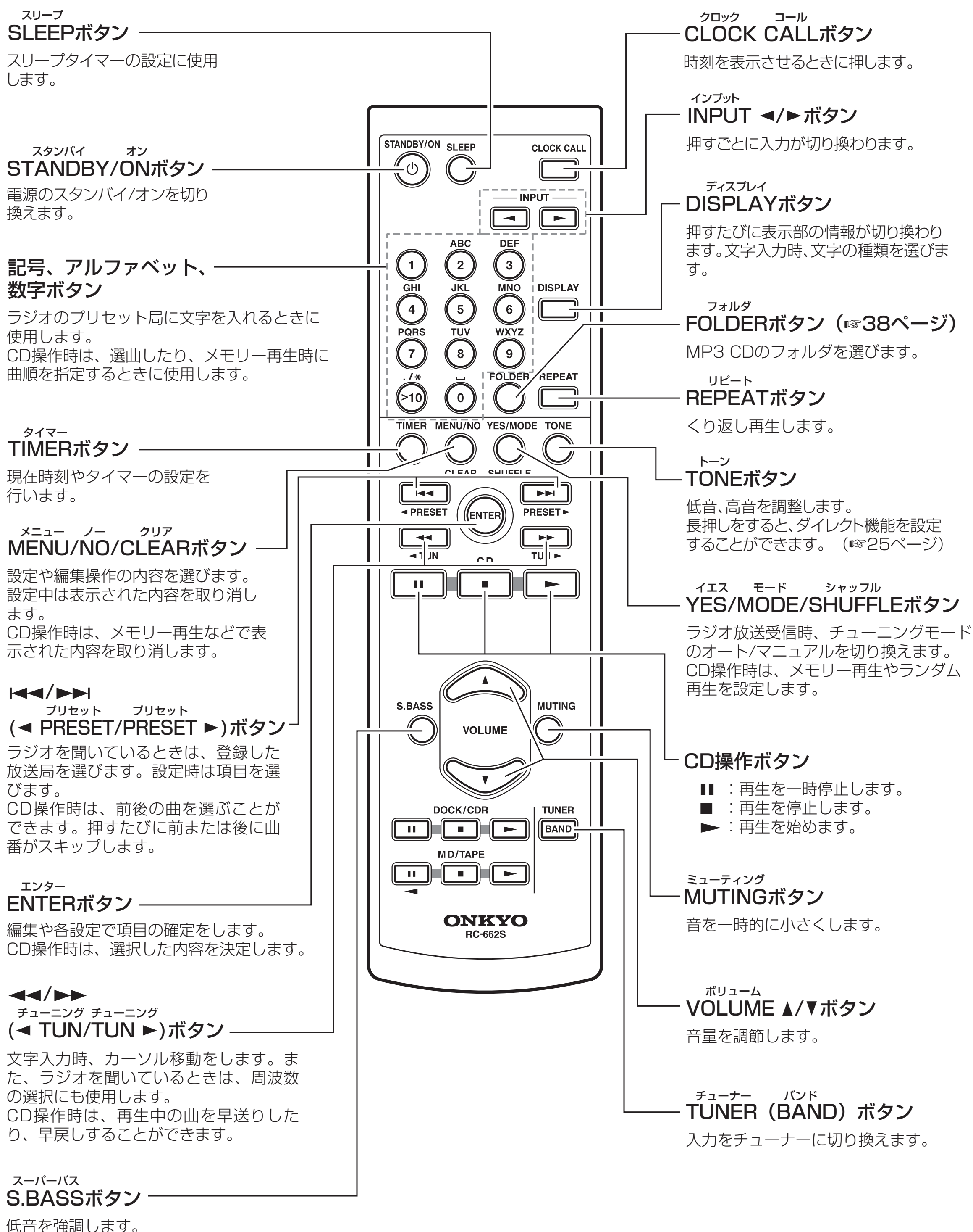
⑧ OPTICAL DIGITAL IN 端子
光デジタル音声の入力端子です。
デジタル出力端子付きのゲーム機、BS チューナーなどと接続します。PCM 信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

⑨ OPTICAL DIGITAL OUT 端子
光デジタル音声の出力端子です。
CD の出力と本機の DIGITAL IN 端子から入力された PCM 信号を出力します。
デジタル入力端子付きの CD レコーダーなどを接続します。PCM 信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

⑩ 電源コード
家庭用 AC100V 電源コンセントに接続します。

接続については、14 〜 22 ページをご覧ください。

リモコン（アンプ、チューナー、CD）



SLEEPボタン
スリープタイマーの設定に使用します。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

記号、アルファベット、数字ボタン
ラジオのプリセット局に文字を入れるときに使用します。
CD操作時は、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときに使用します。

TIMERボタン
現在時刻やタイマーの設定を行います。

MENU/NO/CLEARボタン
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。
CD操作時は、メモリー再生などで表示された内容を取り消します。

I◄◄/►►I (◄ PRESET/PRESET ►)ボタン
ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。
CD操作時は、前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。

ENTERボタン
編集や各設定で項目の確定をします。
CD操作時は、選択した内容を決定します。

◄◄/►► (◄ TUN/TUN ►)ボタン
文字入力時、カーソル移動をします。また、ラジオを聞いているときは、周波数の選択にも使用します。
CD操作時は、再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。

S.BASSボタン
低音を強調します。

CLOCK CALLボタン
時刻を表示させるときに押します。

INPUT ◄/►ボタン
押すごとに入力が切り換わります。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選びます。

FOLDERボタン（☞38ページ）
MP3 CDのフォルダを選びます。

REPEATボタン
くり返し再生します。

TONEボタン
低音、高音を調整します。
長押しをすると、ダイレクト機能を設定することができます。（☞25ページ）

YES/MODE/SHUFFLEボタン
ラジオ放送受信時、チューニングモードのオート/マニュアルを切り換えます。
CD操作時は、メモリー再生やランダム再生を設定します。

CD操作ボタン
- II：再生を一時停止します。
- ■：再生を停止します。
- ►：再生を始めます。

MUTINGボタン
音を一時的に小さくします。

VOLUME ▲/▼ボタン
音量を調節します。

TUNER（BAND）ボタン
入力をチューナーに切り換えます。

各部の名前と主な働き

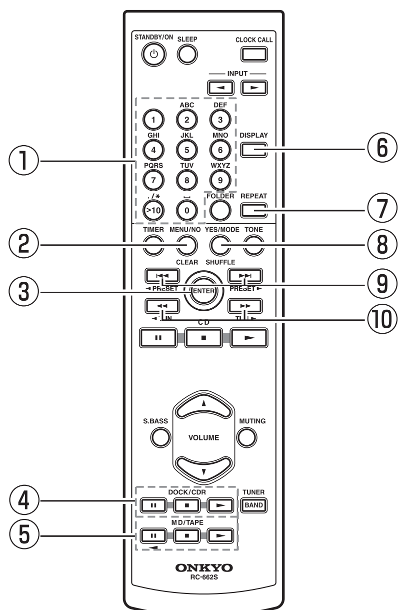
リモコン（その他）

ここでは、MD/TAPE 端子や DOCK/CDR 端子、OPTICAL DIGITAL IN 端子に接続した機器が、オンキヨー製 MD レコーダーやカセットデッキ、RI ドック、CD レコーダーのときに使用できるボタンについて説明します。

- 機器の接続については、17 ～ 20 ページをご覧ください。
- また、接続した機器に合わせて、入力の表示名称を変更する必要があります。24 ページをご覧ください。

RI 端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機に付属のリモコンで、オンキヨー製機器も操作できます。
- オンキヨー製機器を再生すると、本機の入力が自動的に切り換わります。



例：⑧の YES/MODE/SHUFFLE ボタンの場合

- MD/TAPE 端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NR ボタンとして働きます。
- DOCK/CDR IN/OUT 端子に CD レコーダーを接続して入力名称を「DOCK」にしたときは、SHUFFLE ボタンとして働き、「CD-R」にしたときは、MODE ボタンとして働きます。
  OPTICAL DIGITAL IN 端子に CD レコーダーを接続して入力名称を「CD-R/dig」にしたときも同様です。

	接続端子	MD/TAPE		DOCK/CDR		DIGITAL IN
	リモコンのボタン名 ＼ 入力名称	TAPE	MD	DOCK	CD-R	CD-R/dig
①	1～9		1～9		1～9	1～9
	0		10/0		10/0	10/0
	＞10		＞10		＞10	＞10
②	MENU/NO/CLEAR		CLEAR	MODE	CLEAR	CLEAR
③	ENTER		ENTER	SELECT	ENTER	ENTER
④	DOCK/CDR ►			►	►	►
	DOCK/CDR ■			■	■	■
	DOCK/CDR ❚❚			❚❚	❚❚	❚❚
⑤	MD/TAPE ►	►	►			
	MD/TAPE ■	■	■			
	MD/TAPE ❚❚ (◄)	◄	❚❚			
⑥	DISPLAY		DISPLAY	BACKLIGHT	DISPLAY	DISPLAY
⑦	REPEAT	REV MODE	REPEAT	REPEAT	REPEAT	REPEAT
⑧	YES/MODE/SHUFFLE	DOLBY NR	MODE	SHUFFLE*	MODE	MODE
⑨	⏮/⏭	◄◄/►►	⏮/⏭	⏮/⏭	⏮/⏭	⏮/⏭
⑩	◄◄/►►		◄◄/►►	◄◄/►►	◄◄/►►	◄◄/►►

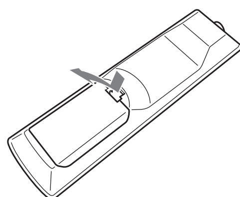
- ボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。

＊ プレイリストやアルバムリスト表示のときは、SHUFFLE On/Off として働きます。カーソルモードでは MENU ボタンとして働きます。

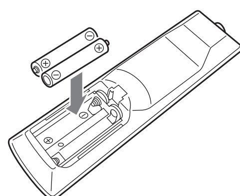
リモコンを準備する

乾電池を入れる

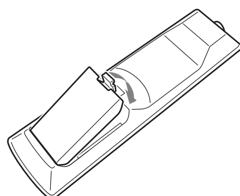
1. カバーを矢印の方向に持ち上げる



2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池 2 個を
   プラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる



3. カバーを戻す

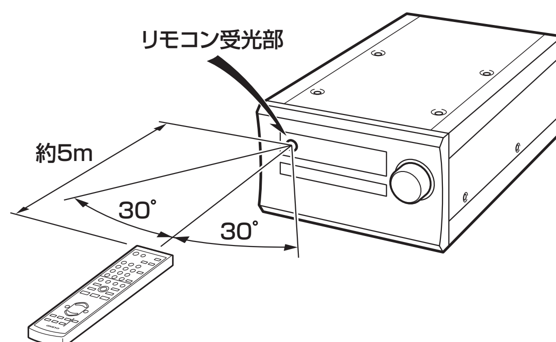


ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して 2 本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単 3 形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



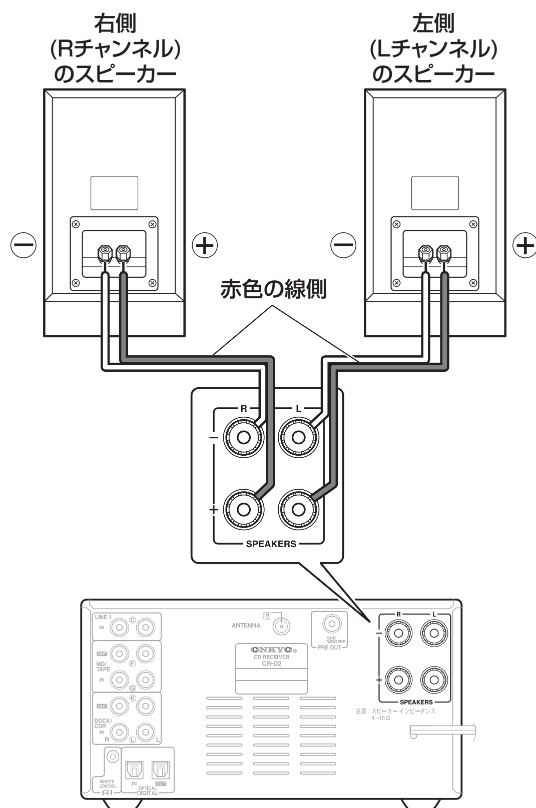
ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

接続する

スピーカーを接続する

電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。また、スピーカーに付属の取扱説明書もお読みください。

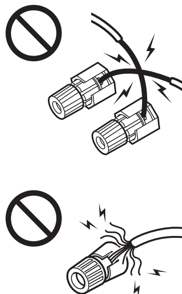


- スピーカーはインピーダンスが４Ω（オーム）～ 16 Ωのものを接続してください。4 Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子の R に、左側に設置するスピーカーは L に接続してください。

危険

回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスを絶対に接触させないでください。
また、リアパネルにも触れないように、ご注意ください。

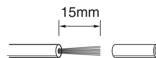
スピーカーコードはしっかりとよじってください。
銅線がリアパネルに触れるとショートする原因となります。



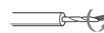
スピーカーコードの接続

本機のスピーカー端子のプラス⊕とスピーカーのプラス⊕端子、本機のスピーカー端子のマイナス⊖とスピーカーのマイナス⊖端子を接続します。

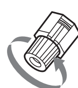
① スピーカーコードの被覆を 15mm カットする



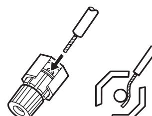
② しん線の先端をしっかりとよじる



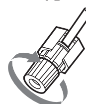
③ ねじをゆるめる



④ しん線を差し込む

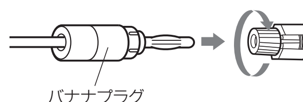


⑤ ねじを締め付ける



バナナプラグの場合

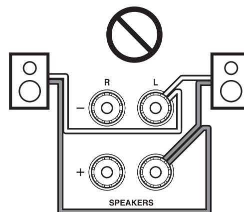
バナナプラグタイプのスピーカーコードを接続することもできます。その場合は、スピーカー端子のねじを締めてからプラグを差し込んでください。



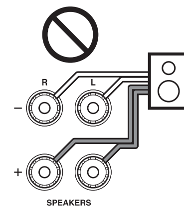
ご注意

- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続すると音声が不自然になりますのでご注意ください。
- スピーカー端子に複数のスピーカーコードは接続しないでください。故障の原因になります。
- 1台のスピーカーを左右スピーカー端子に並列接続しないでください。

例 1：



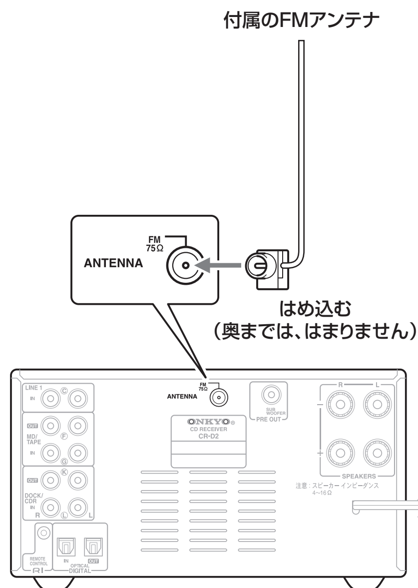
例 2：



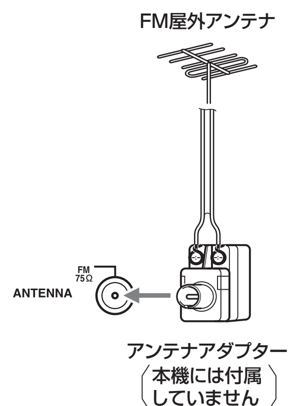
ラジオのアンテナを接続する

付属の FM アンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(☞26 ページ)



FM 屋外アンテナを接続する



FM 屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

!ヒント

- 建物の陰にならず、FM 放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

外部機器を接続する

接続の前に

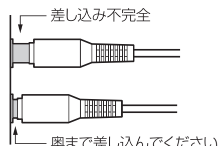
- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ（R の表示）を右チャンネル、白いプラグ（L の表示）を左チャンネルに接続してください。



- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。



- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル入力端子 / 出力端子について

本機の光デジタル入出力端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。



光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。



設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

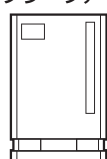
音声ケーブルと端子の種類について

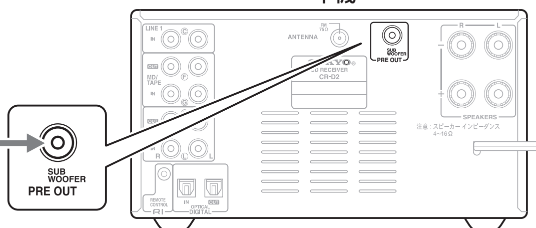
本機にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	使用するケーブル	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル（オプティカル OPTICAL）		IN OUT OPTICAL	デジタル信号を伝送します。
オーディオ用ピンコード		R L	アナログ音声を伝送します。
ステレオミニジャックケーブル		IN — LINE 2 — OUT	アナログステレオ音声を伝送します。

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。





：信号の流れ

MD レコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製 MD レコーダーとの接続例です。）

■オンキヨー製 MD レコーダーとの接続

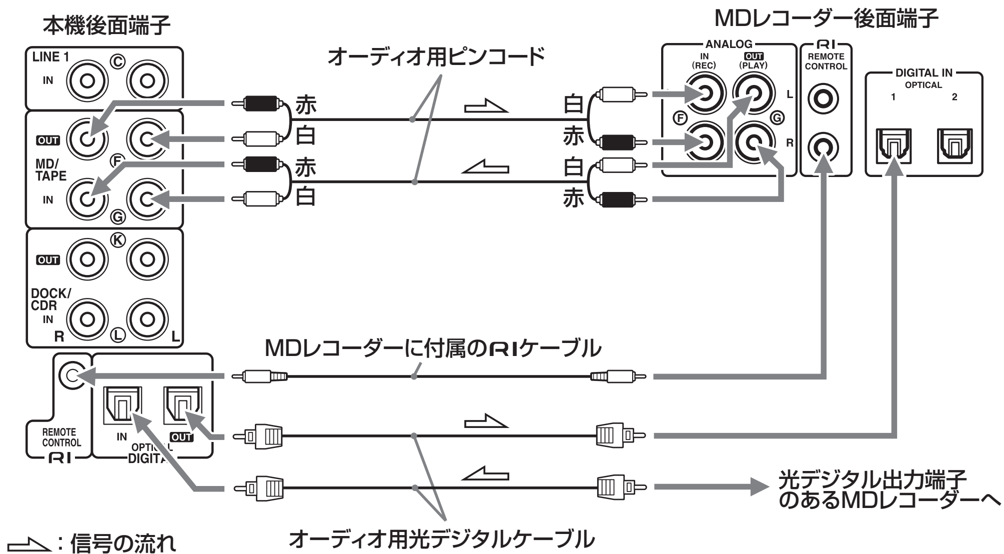
本機の MD/TAPE OUT 端子Ⓕと MD レコーダーの IN（REC）端子Ⓕを接続してください。
本機の MD/TAPE IN 端子Ⓖと MD レコーダーの OUT（PLAY）端子Ⓖを接続してください。

- 外部入力の表示名称を「MD」にする必要があります。（☞24 ページ。お買い上げ時の設定は「MD」ですので、そのままお使いください。）

本機から MD レコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機の OPTICAL DIGITAL OUT 端子と MD レコーダーの DIGITAL INPUT 端子を接続します。

RI 端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製 MD レコーダーも操作できます。
- 本機に MD レコーダーと CD レコーダーを接続する場合は、両機器間の RI 端子も接続してください。
- オンキヨー製 MD レコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的に MD に切り換わります。この場合、システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）



■その他の MD レコーダーと接続する場合

本機の MD/TAPE OUT 端子Ⓕと MD レコーダーの音声入力端子、本機の MD/TAPE IN 端子Ⓖと MD レコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。
本機から MD レコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機の OPTICAL DIGITAL OUT 端子と MD レコーダーのデジタル入力端子を接続します。
デジタル出力端子のある MD レコーダーの場合は、オーディオ用光デジタルケーブルを使って本機の OPTICAL DIGITAL IN 端子に接続してください。

外部機器を接続する

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

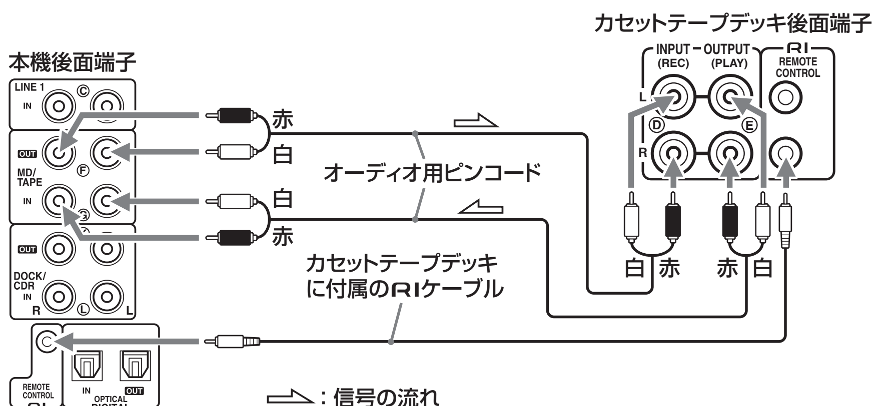
■オンキヨー製カセットテープデッキとの接続

本機の MD/TAPE OUT 端子Ⓕとカセットテープデッキの IN 端子Ⓓを接続してください。
本機の MD/TAPE IN 端子Ⓖとカセットテープデッキの OUT 端子Ⓔをそれぞれ接続してください。

- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（☞ 24 ページ。お買い上げ時の設定は「MD」になっています。）

RI 端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的に TAPE に切り換わります。
- システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）



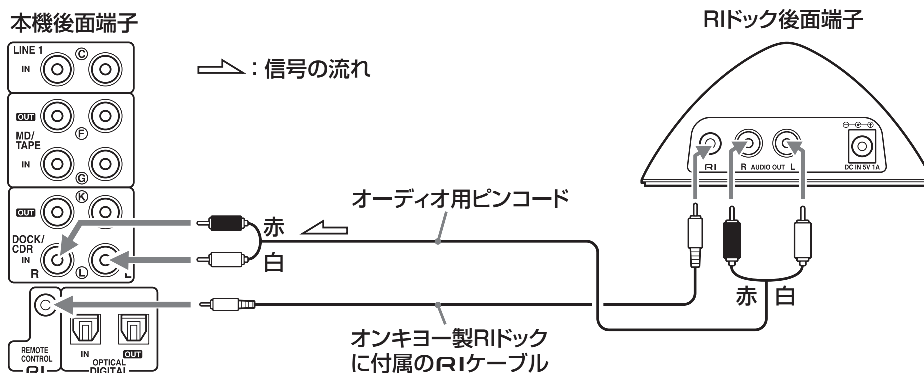
■その他のカセットテープデッキと接続する場合

本機の MD/TAPE OUT 端子Ⓕとカセットテープデッキの音声入力端子、本機の MD/TAPE IN 端子Ⓖとカセットテープデッキの音声出力端子をそれぞれ接続してください。

リモートインタラクティブドック（RI ドック）を接続する

DS-A1XP などのオンキヨー製 RIドックを本機と接続します。
本機の DOCK/CDR IN 端子Ⓚと RIドックの音声出力端子を接続してください。

- 外部入力の表示名称を「DOCK」にする必要があります。（☞ 24 ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっていますので、そのままお使いください。）また、RIドックの MODE スイッチを「HDD」または「HDD/DOCK」にしてください。



RI 端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製 RIドックを操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製 RIドックの再生をすると、本機の入力が自動的に「DOCK」に切り換わります。

CD レコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製 CD レコーダーとの接続例です。）

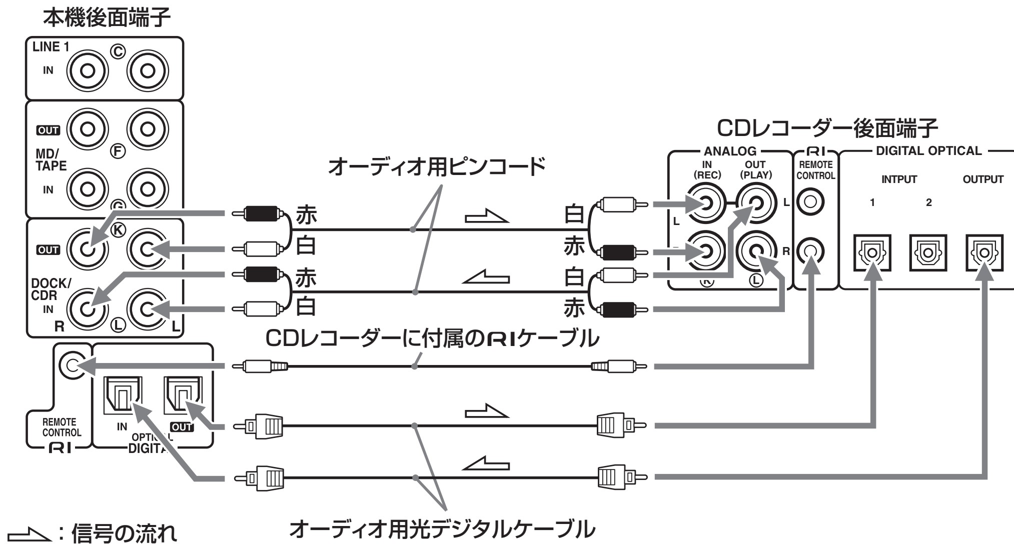
■オンキヨー製 CD レコーダーとの接続

本機の DOCK/CDR OUT 端子Ⓚと CD レコーダーの IN（REC）端子Ⓚを接続してください。
本機の DOCK/CDR IN 端子Ⓛと CD レコーダーの OUT（PLAY）端子Ⓛを接続してください。
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（☞ 24 ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）

本機の OPTICAL DIGITAL IN 端子と CD レコーダーの DIGITAL OUT 端子を、オーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。
- 外部入力の表示名称を「CD-R/dig」にする必要があります。（☞ 24 ページ。お買い上げ時の設定は「DIGITAL」になっています。）

本機から CD レコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機の OPTICAL DIGITAL OUT 端子と CD レコーダーの DIGITAL INPUT1 端子を接続します。

RI 端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- 本機付属のリモコンでオンキヨー製 CD レコーダーも操作できます。ただし、CD レコーダーを DIGITAL 端子のみで接続している場合は、リモコン操作はできません。たとえば、DOCK/CDR IN 端子に RIドックを接続し、CD レコーダーを OPTICAL DIGITAL IN 端子に接続している場合など、CD レコーダーはリモコン操作できません。
- 本機に CD レコーダーとカセットテープデッキを接続する場合は、両機器間の RI 端子も接続してください。
- オンキヨー製 CD レコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的に CD-R に切り換わります。
- デジタル接続している場合は、「CD-R/dig」に切り換わります。
- システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

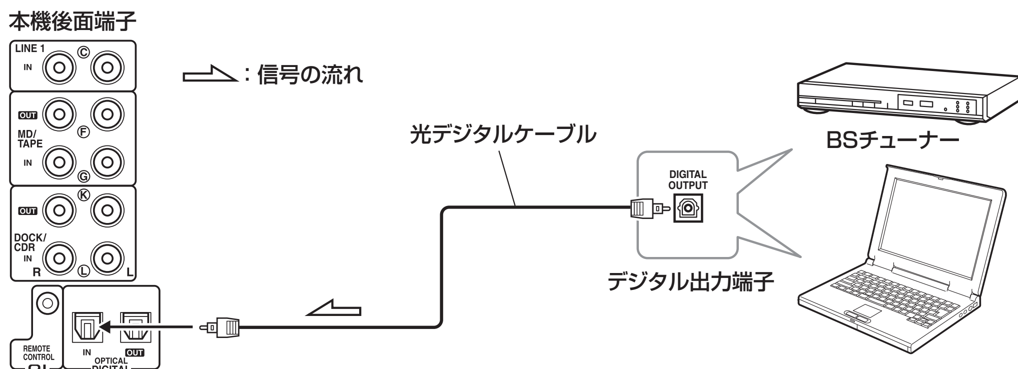


■その他の CD レコーダーと接続する場合

本機の DOCK/CDR OUT 端子Ⓚと CD レコーダーの音声入力端子、本機の DOCK/CDR IN 端子Ⓛと CD レコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。
本機から CD レコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機の OPTICAL DIGITAL OUT 端子と CD レコーダーのデジタル入力端子を接続します。

デジタル機器の PCM 音声を CR-D2 で聞く接続をする

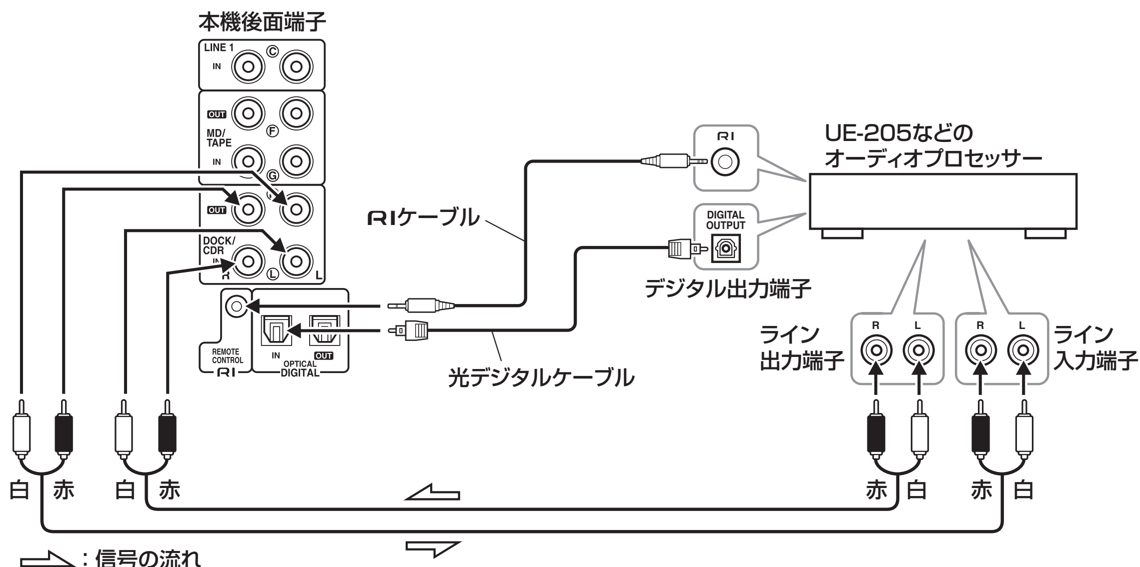
本機の OPTICAL DIGITAL IN 端子と BS デジタルチューナーやパソコンなどのデジタル機器のデジタル音声出力端子を接続してください。



パソコンにデジタル音声出力端子がない場合、UE-205 などのオンキヨー製パソコン用オーディオプロセッサーなどを接続すると、パソコンのデジタル音声を本機でお楽しみいただけます。

本機の OPTICAL DIGITAL IN 端子とオーディオプロセッサーのデジタル音声出力端子を接続します。
- 外部入力の表示名称を「PC/dig」に変更する必要があります。（☞ 24 ページ。お買い上げ時の設定は「DIGITAL」になっています。）

本機の DOCK/CDR IN 端子Ⓚとオーディオプロセッサーのライン出力端子を接続します。本機の DOCK/CDR OUT 端子Ⓛとオーディオプロセッサーのライン入力端子を接続します。
- 外部入力の表示名称を「PC」に変更する必要があります。（☞ 24 ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）



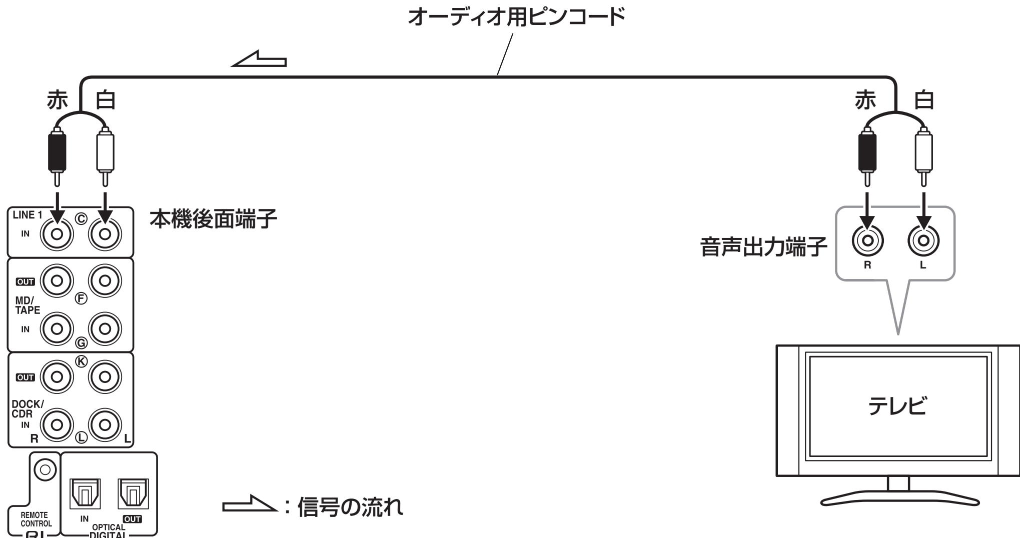
RI 端子を接続すると以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製オーディオプロセッサーに付属のリモコンで本機の一部の操作ができます。（スタンバイ / オン、入力切り換え、音量調整、ミューティング、チューナー部操作、音質調整）

ご注意

- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製オーディオプロセッサーの操作はできません。
- オンキヨー製オーディオプロセッサーを経由してパソコン機器を再生すると、本機の入力が自動的に「PC」に切り換わります。デジタル接続している場合は、「PC/dig」に切り換わります。

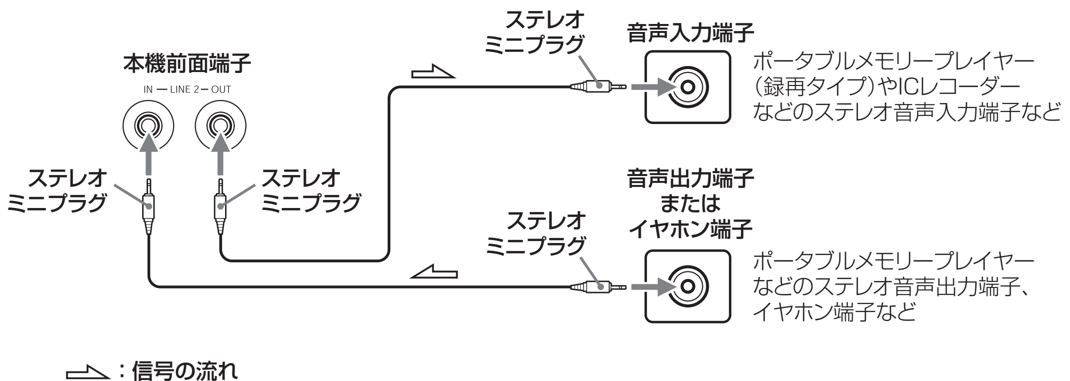
テレビの音を CR-D2 で聞く接続をする

本機のLINE 1 IN端子とテレビの音声出力端子を接続してください。テレビの音声を聞くときは入力をLINE 1にします。



ポータブルオーディオ機器を接続する

本機前面の LINE 2 IN/OUT 端子はポータブルオーディオ機器を接続するのに便利です。
LINE 2 IN 端子には、ポータブルオーディオ機器（メモリープレーヤー、MD プレーヤー、CD プレーヤーなどの再生機器）を接続します。
LINE 2 OUT 端子には、ポータブルメモリープレーヤー（録再タイプ）や IC レコーダーなどを接続し、本機で再生した音を録音することができます。
接続する機器側の端子形状によっては、使用するケーブルを別途購入する必要があります。本機の LINE 2 IN/OUT 端子は、ステレオミニプラグに対応しています。



：信号の流れ

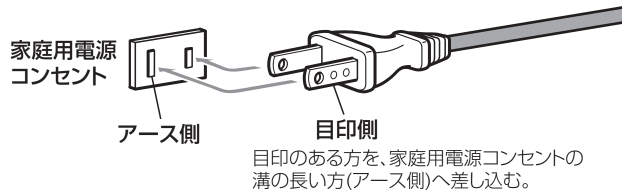
ご注意

- 接続用のケーブルには、抵抗入りではないものをご使用ください。
- 本機の LINE 2 OUT 端子から他機へ録音する場合、音量は一定となります。録音先の機器で録音レベルを調整してください。
- 録音後の音質は、録音元とは異なる場合があります。
- 本機の LINE 2 IN 端子へ他機のイヤホン端子を接続する場合は、あらかじめ接続する機器側の音量を調整しておいてください。
- LINE 2 IN 端子へ接続する場合、となりの PHONES 端子へ誤って接続しないようご注意ください。間違って接続すると、PHONES 端子の故障の原因となります。

電源コードを接続する

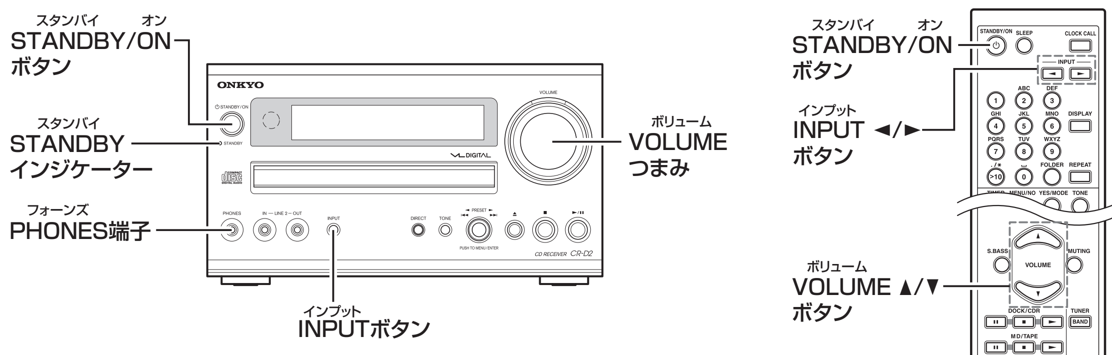
すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯します。

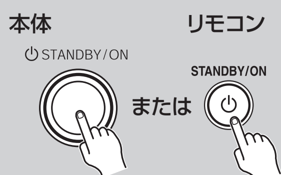
より良い音で聞いていただくために
本機の電源コードは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。



基本の操作を理解する

電源を入れる





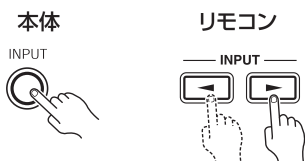
本体またはリモコンの STANDBY/ON ボタンを押す

STANDBY インジケーターが消灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

!ヒント

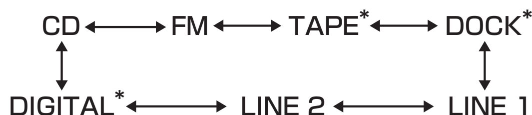
本機に RI ケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製 RIドックや CD レコーダー、カセットテープデッキの電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

入力を切り換える



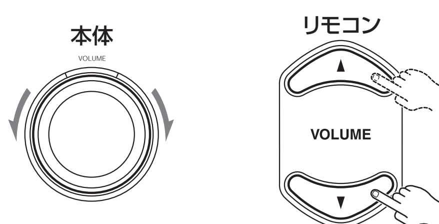
本体の INPUT ボタンまたはリモコンの INPUT ◄/► ボタンを押して切り換える

CD、FM 放送、接続した外部機器から選べます。ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。



＊表示名称を変えることができます。（☞24 ページ参照）

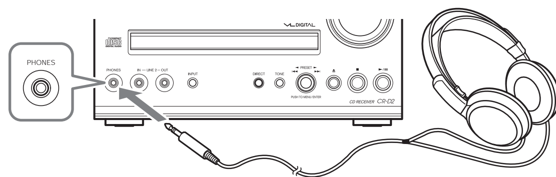
音量を調節する



本体の VOLUME つまみを回すか、リモコンの VOLUME▲/▼ ボタンを押す

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグを PHONES 端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

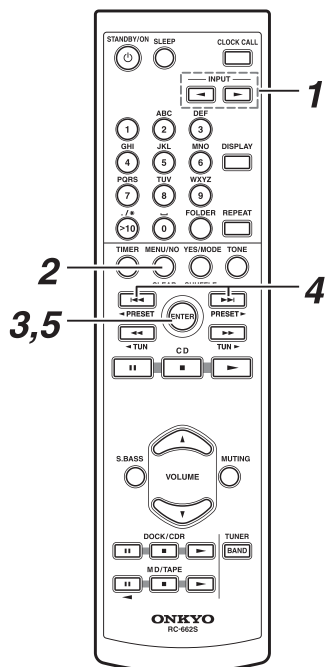


ご注意

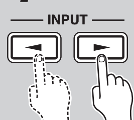
PHONES 端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると接続した機器の故障の原因となります。となりの LINE 2 IN 端子へ接続するケーブルを間違って PHONES 端子へ差し込まないよう、ご注意ください。

接続した機器の表示名称を変える

RI 端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。



1



INPUT ◄/► ボタンを押して、名称を変える

DOCK、MD、DIGITAL から選べます。

2



MENU/NO/CLEAR ボタンを「Name Select?」と表示されるまで押し続ける

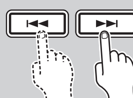
Name Select?

3



ENTER ボタンを押す

4



⏮/⏭ ボタンを押して名称を選ぶ

DOCK ⟺ CD-R ⟺ PC（PC から DOCK に戻る）

MD⟺VIDEO⟺DAT⟺TAPE（TAPE から MD に戻る）

DIGITAL ⟺ CD-R/dig

⇕　　　※1 ⇕

GAME/dig ⟺ PC/dig

※ 1 UE-205 以外の USB オーディオプロセッサーなどを接続したとき選択します。

変更をやめるときは、MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。

5



ENTER ボタンを押して決定する

「Complete」が表示された後、通常表示に戻ります。

Complete

■本体で操作するときは

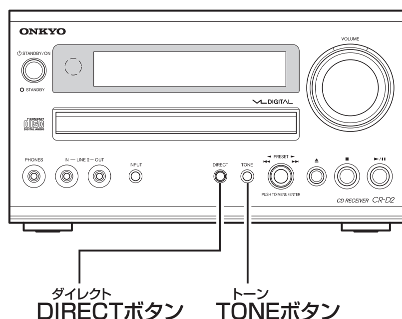
1.INPUT ボタンで名称を変える外部入力（DOCK/MD/DIGITAL）を選ぶ
2.マルチジョグダイヤルを押すと「Name Select?」と表示されるので、もう一度ダイヤルを押す
3.マルチジョグダイヤルを回して名称を選ぶ
4.マルチジョグダイヤルを押して決定する

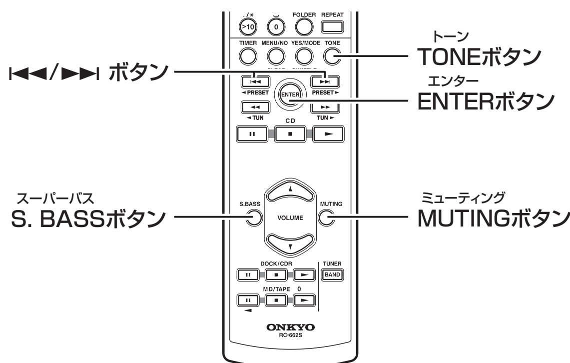
省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
CD-R	CR
DAT	DT
DIGITAL、＊＊/dig	DG
DOCK	DC
GAME	GM
LINE 1	L1
LINE 2	L2
MD	MD
PC	PC
TAPE	TP
VIDEO	VD

音質を調整する





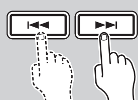
低音と高音を調整する

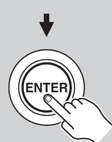
1



リモコンの TONE ボタンを（くり返し）押して、「Bass」を表示させる

2





◀◀/▶▶ ボタンを押して低音（Bass）を調整し、ENTER ボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「± 0」ですが、－３から＋３の間で１ステップずつ調整できます。
- ENTER ボタンを押すと、高音（Treble）の調整になります。

◀◀/▶▶ ボタンを押して高音（Treble）を調整し、ENTER ボタンを押して確定する

ご注意

- 操作の間、約８秒間何もしないと元の表示に戻ります。
- ダイレクト機能が働いているときに TONE ボタンを押すと、ダイレクト機能は解除されます。

低音を強調する



リモコンの S.BASS ボタンを押す

S.BASS インジケーターが点灯します。もう一度押すと解除されます。

本体の TONE ボタンを３秒以上押して、スーパーバス機能を働かせることもできます。

ご注意

ダイレクト機能が働いているときに S.BASS ボタンを押すと、ダイレクト機能は解除されます。

ダイレクト機能を使う

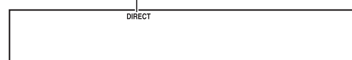


本体の DIRECT ボタンを押す

DIRECT 表示が点灯し、ダイレクト機能が働きます。DIRECT ボタンのまわりのインジケーターも点灯します。

- ダイレクト機能を働かせると、音質調整は働かなくなり、ピュアな音で聞くことができます。
- ダイレクト機能を解除するには、もう一度ボタンを押し、DIRECT 表示を消します。

DIRECT表示点灯



!ヒント

リモコンの TONE ボタンを３秒以上押して、ダイレクト機能を働かせることもできます。

音量を一時的に小さくする



リモコンの MUTING ボタンを押す

MUTING 表示と VOLUME インジケーターが点滅し、音量がごく小さくなります。

MUTING表示点滅

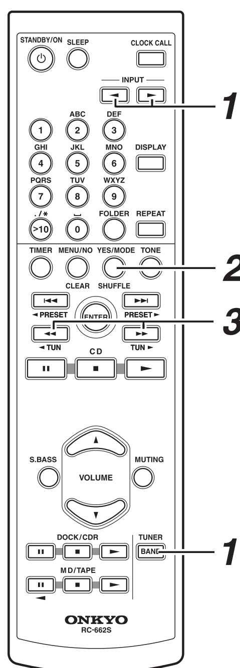


もう一度押すと、解除されます。
以下のときも解除されます。

- 音量を調整したとき
- 一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

FM 放送を聞く

周波数を合わせて聞く

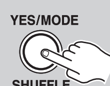


1 入力を FM にする



TUNER（BAND）ボタンを押して、FM にします。
INPUT ◄/► ボタンで「FM」を表示させることもできます。

2 YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して、自動受信か手動受信かを選ぶ



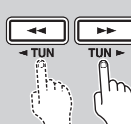
自動的に受信（オートチューニング）したいときは
「AUTO」表示を点灯させます。
ステレオ受信になります。

AUTO表示点灯



手動で受信（マニュアルチューニング）したいときは
「AUTO」表示を消灯させます。
モノラル受信になります。

3 ◄◄/►►（◄TUN/TUN►）ボタンを押す



自動受信（オートチューニング）のときは放送局を見つけると、自動的に停止します。
手動受信（マニュアルチューニング）のときは 1 回押すごとに周波数が 0.1MHz ずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。指を離したところで周波数が止まります。

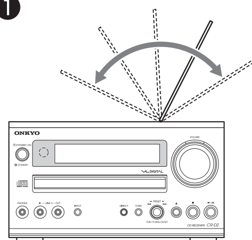
放送局を受信するとチューンド表示(► ● ◄)が点灯します。
FM ステレオ局を受信すると、FM ST 表示が点灯します。



アンテナの調整をする

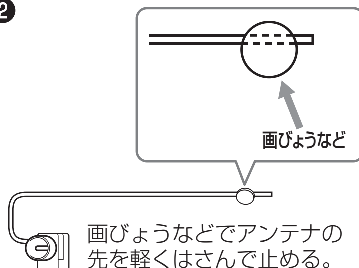
FM 室内アンテナを調整して固定する
FM 放送を聞きながら FM アンテナの調整をします。

❶



アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

❷

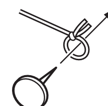


画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

!ヒント

はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

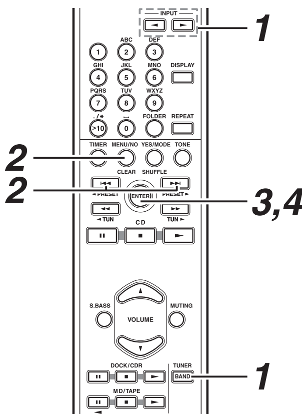


放送局を自動で登録する−オートプリセット−

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。

予 備 知 識

- FM の受信周波数は 76.0 ～ 90.0MHz です。また、本機は、テレビの VHF1 ～ 3CH の音声を受信することができます。
  表示部に「VHF 3CH」のように表示されます。
  テレビの音声周波数
  1CH：95.75MHz、2CH：101.75MHz、
  3CH：107.75MHz
  ＊下記「お知らせ」もご参照ください。
- すでに FM 局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。



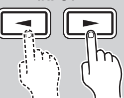
操作の前に

電源を入れてください。
FM の受信状態が良好になるように FM アンテナの位置を調整してください。（☞26 ページ）

ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞ 30 ページ）

1 TUNER（BAND）ボタンを押して、「FM」を表示させる



または

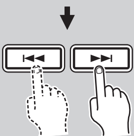
INPUT

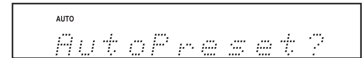


INPUT◄/► ボタンで「FM」を表示させることもできます

2 MENU/NO/CLEAR ボタンを押し、⏮/⏭ ボタンを押して「AutoPreset?」を表示させる

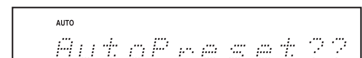






3 ENTER ボタンを押す

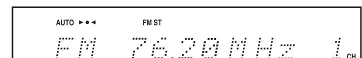




再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。
中断するときは MENU/NO/CLEAR ボタンを押してください。

4 ENTER ボタンを押す





オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に最大 20 局まで登録していきます。

■本体で操作するには

1. INPUT ボタンをくり返し押して「FM」を表示させる
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Auto Preset?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. 再度、確認のメッセージ「Auto Preset??」が表示されるので、正しければマルチジョグダイヤルを押す

!ヒント **登録したあとにこんなこともできます。**

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞ 31 ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞ 30 ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞ 30 ページ

お知らせ

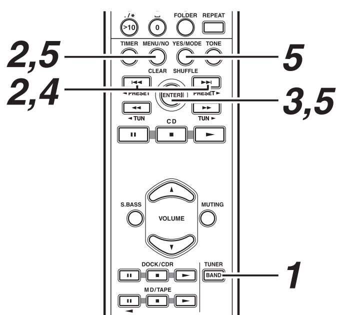
地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに終了することが、国の法令によって定められています。
地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
本機で受信できる VHF1 ～ 3CH についても同様となります。

放送局を 1 局ずつ登録するープリセットライトー

周波数を手動で合わせて、1 局ずつ登録します。

予 備 知 識

- FM、TV 合わせて 40 チャンネルまで登録できます。
- 1 局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えば FM チャンネル 2、5、9 のようにすることができます。



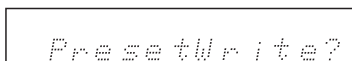
操作の前に
電源を入れてください。

1 登録したい放送局を受信する

26 ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

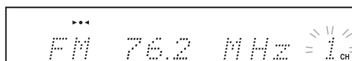
2 MENU/NO/CLEAR ボタンを押し、◀◀/▶▶ ボタンを押して「Preset Write?」を表示させる





3 ENTER ボタンを押す

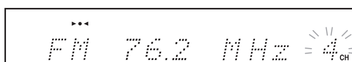




登録するチャンネルが表示されます。
中断するときは MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。

4 別のチャンネルに登録するときは、◀◀/▶▶ ボタンを押す

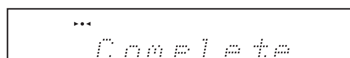




5 ENTER ボタンを押して決定する

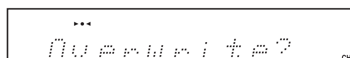


「Complete」(完了)と表示されたときは



放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

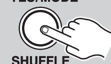
「Overwrite?」(書き換えますか ?)と表示されたときは



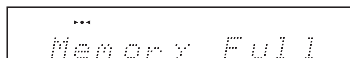
選んだチャンネル番号は登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押します。
- 登録をやめるときは、MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。





「Memory Full」と表示されたときは



FM、TV 合わせてすでに 40 チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから(☞ 30 ページ)、再度登録してください。

6 次を登録するときは、手順 1 ～ 5 をくり返す

■本体で操作するには

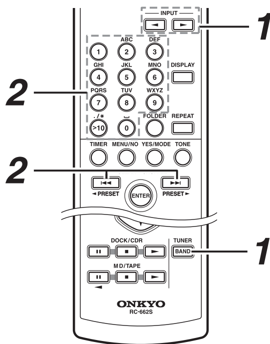
1. INPUT ボタンをくり返し押して「FM」を表示させる
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Preset Write?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. マルチジョグダイヤルを回してチャンネルを選び、ダイヤルを押す

!ヒント 登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞ 31 ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞ 30 ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞ 30 ページ

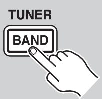
登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞27、28 ページ）

■ リモコンで操作する

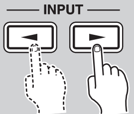


操作の前に
電源を入れてください。

1



または



TUNER（BAND）ボタンを押す

INPUT◄/► ボタンで「FM」を表示させることもできます

2



または



⏮/⏭（◄PRESET/PRESET►）ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

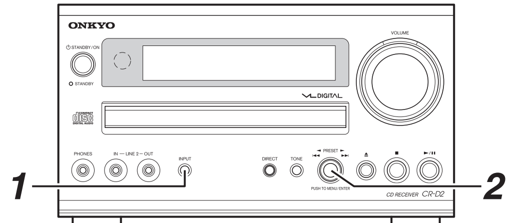
⏮（◄PRESET）ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭（PRESET►）ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

!ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

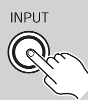
例）　登録番号	押すボタン
8	8
10	0
22	>10 2 2

■ 本体で操作する



操作の前に
電源を入れてください。

1

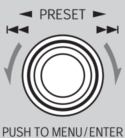


入力を FM にする

INPUT ボタンを（くり返し）押して、FM にします。

AUTO ►•◄　FM ST
FM 79.0 MHz 1CH

2



マルチジョグダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

AUTO ►•◄　FM ST
FM 89.9 MHz 8CH

FM 放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンの YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押し、AUTO（オートステレオ）の表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTO にもどすときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTO にしておくと自動的に FM ステレオ受信となります。



AUTO ►•◄　FM ST
FM 79.0 MHz 1CH

►•◄
FM 79.0 MHz 1CH

表示部の情報を切り換える

リモコンの DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

FM周波数 ⟺ 放送局に付けた名前

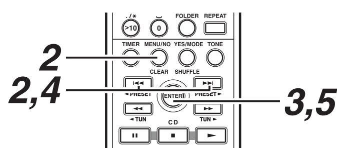
- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「登録した放送局に名前をつける」（☞ 31 ページ）

登録した放送局を編集する

コピーと削除の 2 つの基本機能を使って、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更、不要なチャンネルの削除などができます。

登録した放送局をコピーする

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞ 31 ページ）も同時にコピーされます。



1　FM または TV の、コピーするチャンネルを呼び出す

TUNER（BAND）ボタンを押してから、⏮/⏭（◄PRESET/PRESET►）ボタンで選びます。

2　MENU/NO/CLEAR ボタンを押し、⏮/⏭ ボタンを押して「Preset Copy?」を表示させる

MENU/NO
CLEAR

AUTO
PresetCopy?

3　ENTER ボタンを押す

チャンネルが点滅を始めます。

FM 80.0 MHz 4 CH

4　⏮/⏭ ボタンを押してコピー先のチャンネルを選ぶ

FM 80.0 MHz 6 CH

5　ENTER ボタンを押す

放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete」（完了）が表示されます。

「Overwrite?」（書き換えますか？）と表示されたときは

選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、ENTER ボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。

MENU/NO
CLEAR

■本体で操作するには

1. INPUT ボタンで FM を選んでからマルチジョグダイヤルを回して、コピーするチャンネルを呼び出す
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Preset Copy?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. マルチジョグダイヤルを回してコピー先のチャンネルを選び、ダイヤルを押す

登録した放送局を削除する

1　FM または TV の、削除するチャンネルを呼び出す

TUNER（BAND）ボタンを押してから、⏮/⏭（◄PRESET/PRESET►）ボタンで選びます。

2　MENU/NO/CLEAR ボタンを押し、⏮/⏭ ボタンを押して「Preset Erase?」を表示させる

PresetErase?

3　ENTER ボタンを押す

「Erase OK?」と再確認のメッセージが表示されます。
削除をやめるときは、MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。
削除するときは、もう一度 ENTER ボタンを押します。
登録した放送局が削除され、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

■本体で操作するには

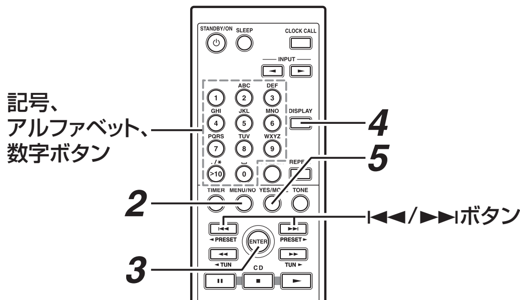
1. INPUT ボタンで FM を選んでからマルチジョグダイヤルを回して、削除するチャンネルを呼び出す
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Preset Erase?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. 再度、確認のメッセージ「Erase OK?」が表示されるので、正しければマルチジョグダイヤルを押す

FM や TV の登録した放送局にチャンネル名をアルファベットや数字、記号でつけることができます。

登録した放送局に名前をつける

FM または TV のチャンネルを選び、文字を入力します。最大 8 文字までの名前がつけられます。

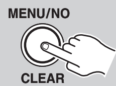
入力できる文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_@ ‘ < > # $ % & * = ; : + − / ( ) ? !
’ ” , . ␣（空白）（挿入）

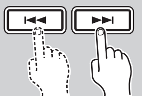


1 FM または TV の、コピーするチャンネルを呼び出す

TUNER (BAND) ボタンを押してから、|◀◀/▶▶|（◀PRESET/PRESET▶）ボタンで選びます。

2 MENU/NO/CLEAR ボタンを押し、|◀◀/▶▶| ボタンを押して「Name In?」を表示させる





入力モードに入ります。



3 ENTER ボタンを押す



入力モードに入ります。



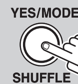
文字の種類

4 DISPLAY ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ



ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。
A（大文字のアルファベット）→ a（小文字のアルファベット）→ 1（数字）→ A…

アルファベットを入力するには
数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、(2) ボタンは押すごとに A → B → C → A と切り換わりますので、希望の文字を表示させて ENTER ボタンを押してください。



数字を入力するには
数字ボタンを押すと数字が表示されます。

記号を入力するには
(>10) ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（(>10) ボタンは、. / * が、(0) ボタンはスペースが入力できます。）希望の記号を表示させて ENTER ボタンを押してください。
|◀◀ または ▶▶| ボタンを押して文字を選び、ENTER ボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意
- リモコンの数字ボタンでは、すべての記号を入力することはできません。文字を挿入するときの「」や、その他の記号の入力は、リモコンの |◀◀ または ▶▶| ボタンを押して選んでください。
- 8 文字まで入力することができます。9 文字目を入力しようとすると「Full」と表示されるので、次の手順へ進んでください。

5 YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して入力を終了する

YES/MODE
SHUFFLE

「Complete」（完了）が表示されて終了します。

■本体で操作するには

1. INPUT ボタンで FM を選んでからマルチジョグダイヤルを回して、名前をつけたいチャンネルを選ぶ
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Name In?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. マルチジョグダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押す
5. 手順 ***4*** をくり返し、8 文字入力すると終了する

- 文字の種類を選ぶときは、リモコンの DISPLAY ボタンを押してください。

文字を訂正／消去する

文字入力モードになっていないときは、「登録した放送局に名前をつける」（31 ページ）の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ ◄◄/►► ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる

❷ 訂正するとき：

「登録した放送局に名前をつける」（31 ページ）の手順 ***4*** にしたがって正しい文字を入力する

消去するとき：

MENU/NO/CLEAR ボタンを押す

❸ YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して終了する

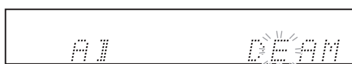
ご注意

MENU/NO/CLEAR ボタンを 2 秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「登録した放送局に名前をつける」（31 ページ）の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ ◄◄/►► ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる



❷ I◄◄ ボタンを押して「M」を表示し、ENTER ボタンを押す



❸「登録した放送局に名前をつける」（31 ページ）の手順 *4* にしたがって挿入する文字を入力する



❹ YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して終了する

放送局につけた名前を消去する

❶ 入力を FM または TV にする

❷ I◄◄/►►I（◄PRESET/PRESET►）ボタンを押して名前を消去したい放送局を選ぶ

❸ MENU/NO/CLEAR ボタンを押し、I◄◄/►►I ボタンを押して「Name Erase?」を表示させる

❹ YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押す

「Complete」と表示され名前が消去されます。

■本体で操作するには

1. INPUT ボタンで FM を選んでからマルチジョグダイヤルを回して、名前を消去したい放送局を選ぶ
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Name Erase?」を表示させ、ダイヤルを押す

CD や MP3 CD を再生する

ディスクについての予備知識

再生できるディスクについて

本機は以下のディスクに対応しています。

ディスクの種類	マーク	フォーマット / ファイルタイプ
Audio CD（オーディオ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	PCM
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	Audio CD MP3
	COMPACT disc Recordable	MP3
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	Audio CD MP3
	COMPACT disc ReWritable	MP3
CD Extra（エキストラ）		Audio CD（Session（セッション） 1） MP3（Session 2）

- ディスクレーベル面に上記のマークの入ったものを使用してください。
- 再生可能なディスク以外のディスクを読み込ませたり再生したりしないでください。「ノイズが出る」、「正常に動作しない」などの現象がおきます。

CD-R/CD-RW の再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、MP3 の音楽データ、が記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。本機が対応しているフォーマットは、Mode 1, Mode 2 XA Form 1 です。
- フォルダは 8 階層まで対応しています。
- MPEG1/MPEG2 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 8kHz から 48kHz、ビットレート 8kbps から 320kbps で記録されたファイルに対応しています（128kbps を推奨しています）。これ以外のファイルは再生できません。
- 固定ビットレートを推奨しますが、可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate) 8kbps から 320kbps で記録されたファイルには対応しています（ただし再生できる場合でも表示部の時間表示が速くなったり、遅くなったりします）。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- 1 枚のディスクにつき、フォルダとファイルをあわせて 499 個まで認識します。ただし、フォルダは 99 個までです。
  これらを越えるファイルやフォルダは再生できません。また、ファイルやフォルダの構成が複雑な場合は、読み込みや再生ができないことがあります。
- ディスク名、ファイル名、フォルダ名は 32 文字まで認識できます。
- ひとつのファイルで表示できる再生時間は、99 分 59 秒までです。
- 再生残り時間は、表示されません。
- ファイル名、フォルダ名（拡張子除く）は表示部に表示されます。
- エンファシスには対応していません。
- シングルセッションを推奨します。マルチセッションにも対応していますが、ディスクによっては読み込みに時間がかかったり、読み込みできなかったりすることがあります。
- CD Extra の音楽データは再生できますが、MP3 データを再生できるように本機を設定することもできます。ディスクに MP3 データがないときは、設定に関係なく音楽データを再生します。
- ID3 タグ情報は、Version1.0/1.1、2.2/2.3/2.4 に対応しています。Version2.5 とそれ以上は対応していません。
  通常は、本機の「ID3VER 1」の設定にかかわらず、Version2.2/2.3/2.4 を優先します。

- ID3Version2 タグ情報については、ファイルの先頭の情報を認識しますので、タイトル、アーティスト名、アルバム名のみの ID3 タグ情報を推奨します。圧縮されていたり、暗号化されていたり、同期していない ID3 タグ情報は表示されません。
- ID3 タグ情報は、ファイルによっては 31 文字しか表示できないことがあります。

ディスクに関する用語について

■楽用 CD

- **音楽用 CD は、「トラック」で区切られています。**

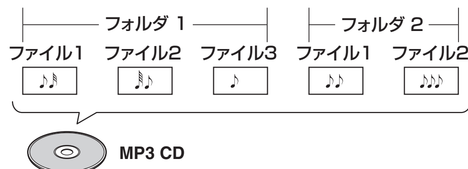


トラック ：音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったものです。

- 一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。

■MP3 CD

フォルダ / ファイルの名前が画面に表示されます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダ / ファイル名は文字化けしたり、[File_001]、[Folder_001] のように表示されることがあります。



ディスクの取り扱いについて

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の中には、正式な CD 規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って機器の故障の原因となることがあります。

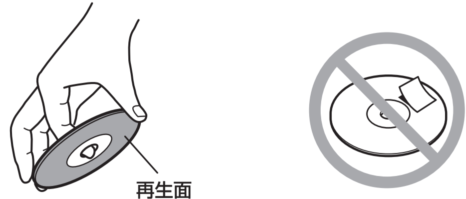
● レンタル CD の注意について

CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

●取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。



●お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。



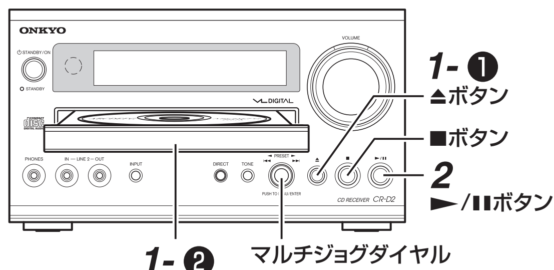
●保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところ、極端に温度の低いところや、湿度の高いところはさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

●結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約 1 時間放置してからご使用ください。

本体で操作する



操作の前に
電源を入れてください。

1 CD をセットする



❶ ≜（オープン/クローズ） ボタン押して、トレイを開く

❷ CD をトレイに置く
レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。
8cm CD のときは、内側のくぼみの中に置きます。

!ヒント
スタンバイ状態のときに ≜（オープン/クローズ） ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2 ►/❚❚（プレイ/ポーズ） ボタンを押す



トレイが閉まって再生が始まります。

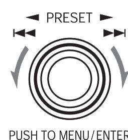
●音楽用 CD



● MP3 CD



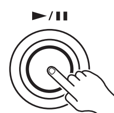
聞きたい曲を選ぶ



- 再生中にマルチジョグダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと 1 曲ずつ前に戻ります。右に回すと 1 曲ずつ次へ進みます。
- 停止中は左に回すと 1 曲ずつ前の曲に戻り、右に回すと 1 曲ずつ次の曲に進みます。

MP3 CD では、他のフォルダのファイルを選ぶこともできます。

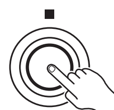
一時停止する



►/❚❚（プレイ/ポーズ） ボタンを押す

表示部に ❚❚ 表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める



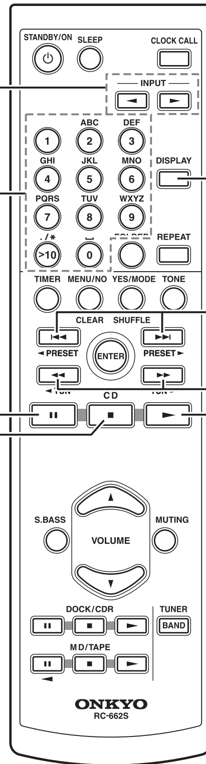
■（ストップ） ボタンを押す

CD を取り出す



≜（オープン/クローズ） ボタンを押してトレイを開ける

リモコンで操作する



CDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

0 ボタン：10または0を選びます。

>10 ボタン：2桁以上の曲を選びます。

例） 曲番	押すボタン
8	8
10	0
34	>10、3、4

11曲目以降を再生するときは、>10 を押してから選曲します。

MP3 CD では、現在選ばれているフォルダ内のファイルを選ぶことができます。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAY（デスプレイ）ボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中、一時停止中に ⏮ ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
- ⏭ ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

MP3 CD では、他のフォルダのファイルを選ぶこともできます。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

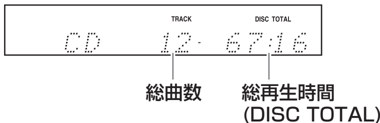
再生する

CDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

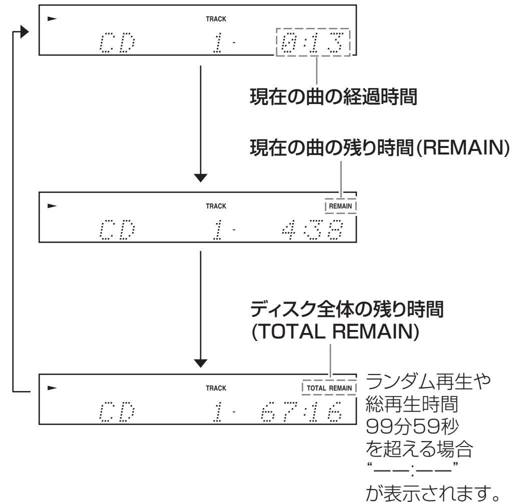
表示部の情報を切り換える

リモコンの DISPLAY（ディスプレイ） ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中



再生中、一時停止中

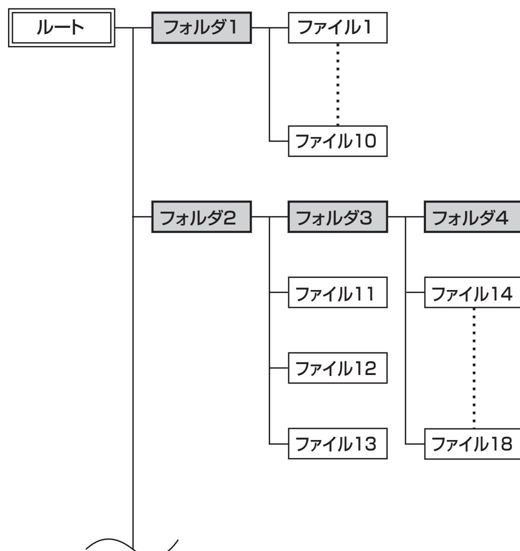


!ヒント

MP3 CD の場合の表示は、40 ページをご覧ください。

MP3 CD でファイルを選ぶ

MP3 CD では、フォルダの中に MP3 ファイルが入っています。
フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中に MP3 ファイルが入っている場合もあり、下記の例のように階層構造になっています。

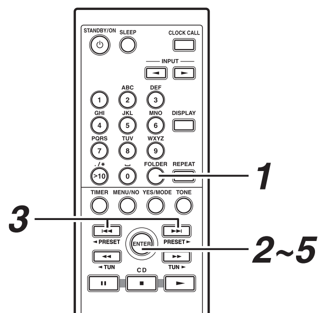


再生するときにフォルダも MP3 ファイルも選ばなかったときは、上記のファイル番号順に再生します。
フォルダを選んでから再生したい MP3 ファイルを選ぶには、次の二つの方法があります。

ナビゲーションモード： フォルダの階層にしたがって順にフォルダを選択し、ファイルを選びます。

フォルダモード： すべてのフォルダが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダを選んでファイルを選びます。

ナビゲーションモードで MP3 ファイルを選ぶ



ランダム再生モードまたは 1 フォルダモードになっているときは、YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して解除してください。

1 停止中に FOLDER ボタンを押す

表示部に「Root」と表示されます。

MP3 FOLDER
[Root]

2 ENTER ボタンを押す

「Root」の下の最初のフォルダ名が表示されます。

MP3 FOLDER
MY Best-Ball

フォルダが無いときは、ファイルの名前が表示されます。

3 ⏮/⏭ ボタンを押して、同じ階層にあるフォルダやファイルを選ぶ

MP3 ファイルの入っていないフォルダは選ぶことができません。

4 フォルダやファイルを選んだら、ENTER ボタンを押す

階層が何段階もある場合は、手順 ***3***、***4*** をくり返してファイルを選んでください。

MP3 FILE
Songs for my

1 つ前の階層に戻るには、MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。

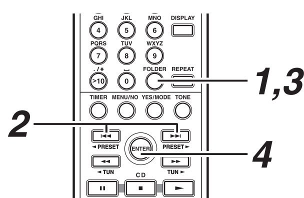
5 ENTER ボタンを押す

選んだファイルの再生が始まります。
- CD ► ボタンを押して、再生を始めることもできます。
- フォルダ選択中に CD ► ボタンを押すと、フォルダのはじめのファイルを再生します。

!ヒント

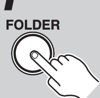
リモコンの ⏮/⏭ ボタンを使用するかわりに本体のマルチジョグダイヤルを左右に回す、また、ENTER ボタンのかわりにマルチジョグダイヤルを押して操作することもできます。

フォルダモードで MP3 ファイルを選ぶ



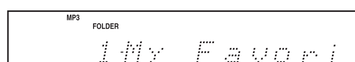
ランダム再生モードになっているときは、YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して解除してください。

1

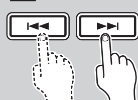


停止中に FOLDER ボタンを 2 秒間押し続ける

「Root」の表示が消えるまで押し続けてください。表示部に、最初のフォルダ名が表示されます。



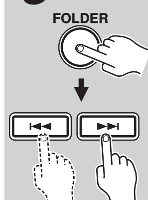
2



⏮/⏭ ボタンでフォルダを選ぶ

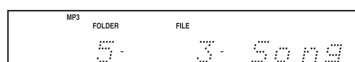
MP3 ファイルの入っているフォルダを選ぶことができます。
選んだフォルダの最初のファイルから再生したいときは手順***4***へ進んでください。

3



FOLDER ボタンを押して、フォルダ内のファイルを選ぶ

フォルダ内の最初の MP3 ファイルの名前が表示されるので、⏮/⏭ ボタンで再生したいファイルを選んでください。



他のフォルダを選びたいときは、FOLDER ボタンをもう一度押すと手順***2***からやり直すことができます。

4



ENTER ボタンを押す

選んだファイルまたはフォルダの再生が始まります。

- CD ► ボタンを押して再生を始めることもできます。

!ヒント

- リモコンの ⏮/⏭ ボタンを使用するかわりに本体のマルチジョグダイヤルを左右に回す、また、ENTER ボタンのかわりにマルチジョグダイヤルを押して操作することもできます。
- 再生中に他のフォルダの MP3 ファイルを選ぶには、FOLDER ボタンを押して ⏮/⏭ ボタンで再生したいファイルを選んだあと ENTER ボタンを押します。次に ⏮/⏭ ボタンでそのフォルダの中のファイルを選んでください。

■一時停止するには

本体 ►/❚❚

または

リモコン

本体の ►/❚❚ ボタン または リモコンの CD ❚❚ ボタンを押す

再び再生を始めるには、同じボタンを押します。

■ナビゲーションモードやフォルダモードを解除するには

本体 ■

または

リモコン

本体の ■ ボタン または リモコンの CD ■ ボタンを押す

■数字ボタンでフォルダやファイルを選ぶには

フォルダモードのときに使用できます。

① 数字ボタンを押してフォルダ番号を入力します。

フォルダ番号：	数字ボタン：
8	8
10	0
34	>10 3 4

停止中の場合は、フォルダ内の最初のファイルの再生が始まります。
再生中の場合は、フォルダ名が点滅するので、ENTER ボタンを押して確定します。

② 数字ボタンでファイル番号を入力します。
ファイルの再生が始まります。

フォルダに 100 個以上の MP3 ファイルが入っている場合、次のように選曲します。

例)

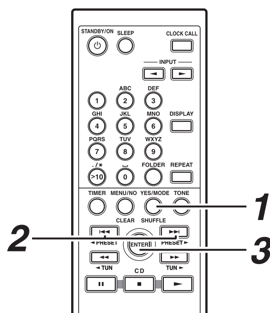
5 曲目 ：5

32 曲目 ：>10、0、3、2

132 曲目 ：>10、1、3、2

CD や MP3 CD を再生する

1 つのフォルダだけ再生する



ひとつのフォルダを指定してくり返し再生します。

1 YES/MODE SHUFFLE

停止中に YES/MODE/SHUFFLE ボタンを（くり返し）押して、「1FOLDER」を表示させる

1FOLDER 表示点灯

MP3 FOLDER 1FOLDER

2

⏮/⏭ ボタンでフォルダを選ぶ

MP3 ファイルの入っているフォルダを選ぶことができます。

3 ENTER

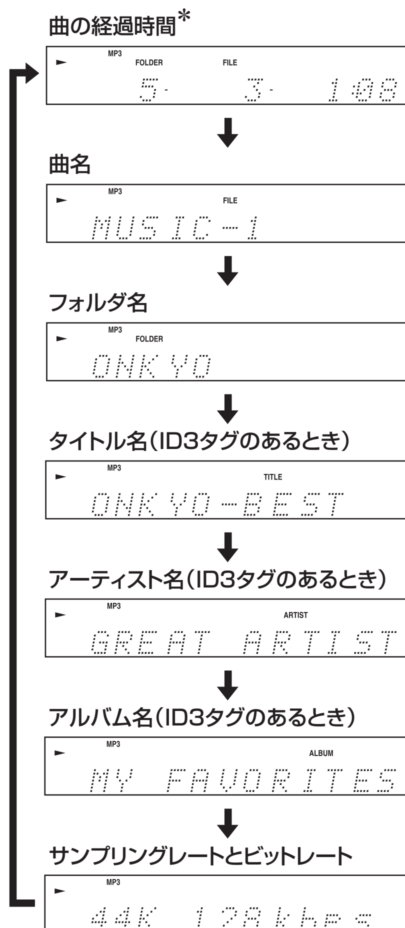
ENTER ボタンを押す

選んだフォルダ内の最初の曲の再生が始まります。そのフォルダ内の最後のファイルの再生が終わると停止します。

- CD ► ボタンを押して再生を始めることもできます。

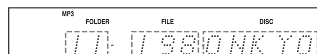
MP3 の表示部の情報を切り換える

MP3 ディスク再生中は DISPLAY ボタンを押すたびに以下のように切り換ります。



＊ 現在再生中のファイルが 99 分 59 秒を超える場合は、「－－：－－」が表示されます。

MP3 ディスク停止中は、以下のような表示になります。DISPLAY ボタンを押すと、ディスク名表示に切り換わります。

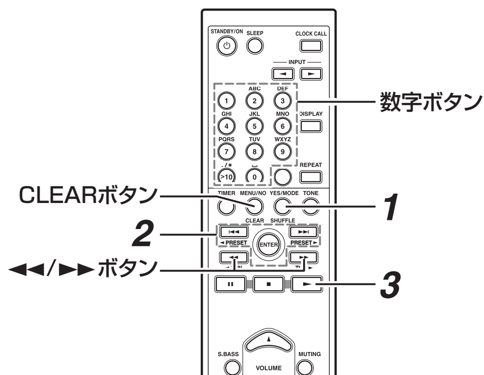


収録フォルダ数　収録曲数　ディスクの名前（先頭5文字を表示）

- 表示できない文字は、下線で表示します。
- 表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。（☞ 43 ページ）

メモリー再生

曲を登録し（25 曲まで）、その順序で再生します。



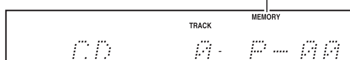
停止状態にしてから操作します。

1

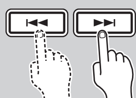
YES/MODE
SHUFFLE

YES/MODE/SHUFFLE ボタンを（くり返し）押して、「MEMORY」を表示させる

MEMORY表示点灯

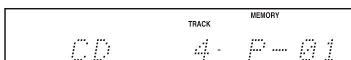


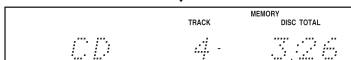
2





⏮/⏭ ボタンでトラックを選び、ENTER ボタンを押す





登録曲番　登録曲の合計再生時間

- 次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。
- リモコンの数字ボタンを使って操作することもできます。

また、本体のマルチジョグダイヤルを使用する場合は、マルチジョグダイヤルを回して曲を選び、押して確定します。

!ヒント

MP3 ファイルをメモリーするには

- ナビゲーションモードの場合は、同一フォルダ内のファイルのみ登録できます。
- YES/MODE/SHUFFLE ボタンでメモリーモードにしたあと、38 ページの手順 ***1*** 〜 ***4*** を行って登録します。
- フォルダモードの場合は、フォルダを越えて登録できます。YES/MODE/SHUFFLE ボタンでメモリーモードにしたあと、39 ページの手順 ***1*** 〜 ***4*** を行って登録します。

登録した曲を削除するには

CLEAR ボタンを押します。押すたびに最後に登録した曲から削除されます。

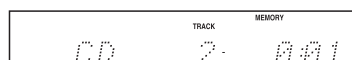
ご注意

- 総再生時間が 99 分 59 秒を越える場合は、「- - : - -」と表示されます。
- 最大 25 曲まで登録できます。それを越えて登録しようとすると「Memory Full」と表示され、これ以上登録できないことを表します。

3



CD ▶ ボタンを押す



再生中の曲番

メモリー再生が始まります。

本体の ▶/❚❚ ボタンを押して再生を始めることもできます。

登録した曲のなかで選曲する

再生中にリモコンの ⏮/⏭ ボタンを押すか、本体のマルチジョグダイヤルを回すと、登録した曲の中から選曲ができます。

登録した内容を確認するには

停止中に ◀◀/▶▶ ボタンを押して登録内容を確認できます。

登録した曲を取り消すには

メモリー再生モードの停止中に、CLEAR ボタンを（くり返し）押すと、最後の登録曲から取り消すことができます。

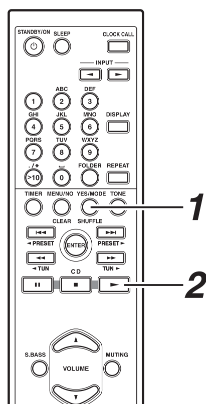
メモリー再生を解除するには

- YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して、再生モードを切り換えると、MEMORY 表示は消えてメモリー再生は解除されます。
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

CD や MP3 CD を再生する

ランダム再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を 1 通り再生します。

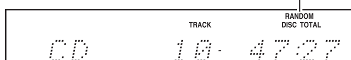


1

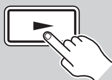
YES/MODE
SHUFFLE

停止中に YES/MODE/SHUFFLE ボタンを（くり返し）押して、「RANDOM」を表示させる

RANDOM表示点灯

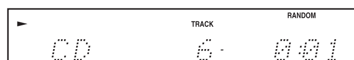


2



CD► ボタンを押す

ランダム再生が始まります。



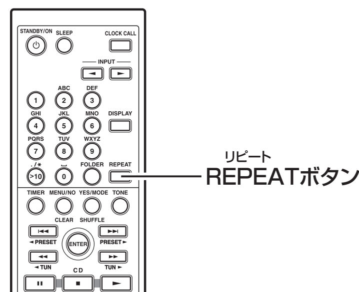
再生中の曲番

ランダム再生を解除するは

- YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して再生モードを切り換えると、RANDOM 表示は消えてランダム再生は解除されます。
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

リピート／1 TR リピート再生

- リピート再生は CD をくり返し再生します。
- 1TR リピート再生は 1 曲をくり返し再生します。
- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TR リピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。
- MP3 CD では、リピート再生を 1- フォルダ再生と組み合わせて使うことができます。

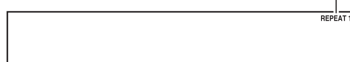


REPEAT



REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

REPEATまたはREPEAT 1表示点灯

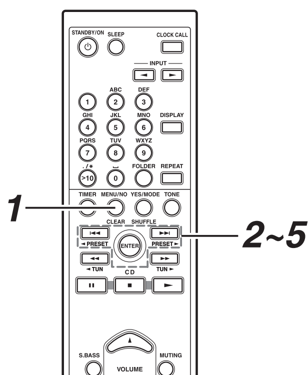


リピート、1 TR リピート再生を解除するには

- REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にすると、リピート、1TR リピート再生は解除されます。
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

MP3 に関する設定をする

MP3 ファイル情報の表示方法を選択したり、MP3 CD の再生方法などを設定することができます。



停止状態にしてから操作します。

1 MENU/NO CLEAR

MENU/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押して、「Disc Name ?」を表示させる

MP3
Disc Name?

2

⏮/⏭ ボタンで変更したい項目を選ぶ

各項目についての詳細は、右の項目をご覧ください。

3 ENTER

ENTER ボタンを押す

4

⏮/⏭ ボタンで設定したいモードを選ぶ

5 ENTER

ENTER ボタンを押す

「Complete」（完了）が表示され、通常の表示に戻ります。
途中で止めたいときは、MENU/NO/CLEAR ボタンを押してください。

各設定について

Disc Name?（ディスク名）

MP3 ディスクのとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。お買い上げ時の設定は Display です。

Display：ディスク名を表示します。
Not Display：ディスク名を表示しません。（MP3 と表示されます。）

File Name?（ファイル名）

MP3 ディスクのとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらず曲名がスクロールします。お買い上げ時の設定は Scroll です。

Scroll：曲名をスクロール表示します。
Not Scroll：曲名をスクロール表示しません。

Folder Name?（フォルダ名）

MP3 ディスクのとき、フォルダ名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらずフォルダ名がスクロールします。お買い上げ時の設定は Scroll です。

Scroll：フォルダ名をスクロール表示します。
Not Scroll：フォルダ名をスクロール表示しません。

Bad Name?

曲名やフォルダ名に、表示できない文字が含まれているときの表示のさせかたを設定します。
ID3 タグ情報については設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。お買い上げ時の設定は Not Replace です。

Replace：「File n」や「Folder n」（n は曲番 / フォルダ番号）という表示に置き換えて表示させます。
Not Replace：表示できる文字は表示し、できない文字は下線で表示します。

ID3 Ver.1?

ID3 Version1.0/1.1 のタグ情報の表示について設定します。お買い上げ時の設定は Read です。

Read：情報を読み込んで表示させます。
Not Read：表示させません。

ID3 Ver.2?

ID3 Version2.2/2.3/2.4 のタグ情報の表示について設定します。お買い上げ時の設定は Read です。

Read：情報を読み込んで表示させます。
Not Read：表示させません。

CD Extra?

CD Extra ディスクの再生について設定します。
お買い上げ時の設定は Audio です。

- **Audio**：音楽データを再生します。
- **MP3**：MP3 データを再生します。

Joliet?

JOLIET 形式で記録された MP3 の SVD(Supplementary Volume Descriptor) データを読み込むか、ISO9660 形式として読み込むかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。SVD は、アルファベットと数字以外に、長いファイル名/フォルダ名や文字をサポートしています。
お買い上げ時の設定は Use SVD です。

- **Use SVD**：SVD (Supplementary Volume Descriptor) データを読み込みます。
- **ISO9660**：ISO9660 形式として読み込みます。

Hide Number?

曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。
お買い上げ時の設定は Disable です。

- **Disable**：番号表示を隠す機能を設定しません。（番号は表示されたままです。）
- **Enable**：番号表示を隠す機能を設定します。（番号表示は無しになります。）

下表は、Disable/Enable を選んだときにどのように表示されるかの例です。

ファイルや フォルダの名前	Disable を 選んだとき	Enable を 選んだとき
01 Pops	01 Pops	Pops
10-Rock	10-Rock	Rock
16_Jazz	16_Jazz	Jazz
21th Century	21th Century	21th Century
05-07-20 Album	05-07-20 Album	Album

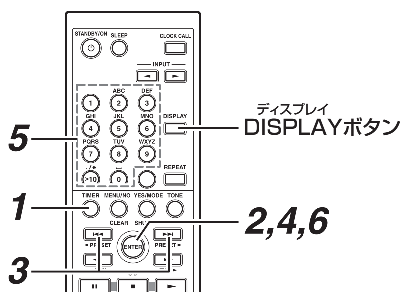
Folder Key?

FOLDER ボタンを押したときと 2 秒以上押したときの設定を変えます。
お買い上げ時の設定は Navigation です。

- **All Folder**：FOLDER ボタンを 1 回押したときはフォルダモードになり、2 秒以上押したときはナビゲーションモードになります。
- **Navigation**：FOLDER ボタンを 1 回押したときはナビゲーションモードになり、2 秒以上押したときはフォルダモードになります。

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12 時間(am/pm)表示と 24 時間表示が選べます。(本書では 24 時間表示の設定方法で説明しています。)



1



TIMER ボタンを(くり返し)押して、「Clock」を表示させる

すでに時計が働いているときは、TIMER ボタンを押すと、「Timer 1」と表示されるので、TIMER ボタンをくり返し押して「Clock」を表示させます。

Clock

2

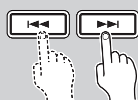


ENTER ボタンを押す

SUN 0:00

曜日入力に入ります。

3



⏮/⏭ ボタンを押して、今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4



ENTER ボタンを押して、曜日を確定する

THU 0:00

時間入力に入ります。

5



数字ボタンを押して、時刻を合わせる

数字ボタンで 4 桁(時、分)をつづけて入力してください。

24 時間表示

THU 19:03

- am/pm 表示のときは、＞10 ボタンで am と pm が切り換わります。
- 24 時間表示のときは、＞10 ボタンを押すと 12 時間後の設定になります。
- ⏮/⏭ ボタンで時刻を合わせることもできます。

6



時報に合わせて ENTER ボタンを押す

THU 19:03

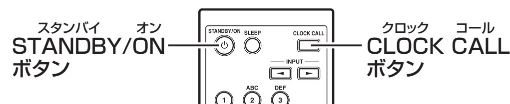
時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

時刻合わせを中断するときは

MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンの CLOCK CALL ボタンを押します。
再度 CLOCK CALL ボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約 8 秒間表示した後、消灯します。



12 時間表示 /24 時間表示を切り換えるには

時刻表示中に DISPLAY ボタンを押します。

STANDBY 時の時刻表示あり / なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体の STANDBY/ON ボタンを 2 秒以上押します。

ご注意

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleep（スリープ）タイマー、Once（ワンス）タイマー、Every（エブリィ）タイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは 4 つまで設定することができます。

タイマーの種類

タイマー Play（プレイ）(再生)： 設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。

タイマー Rec（レック）(録音)： 設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。

- タイマー Rec は本機に接続した RI 端子付きの MD レコーダーまたはオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

再生機器の設定

タイマープレイ（再生）の場合は、本機の INPUT（インプット）ボタンで選択できるものを再生ソースとして選ぶことができます。
タイマーレック（録音）の場合は、録音先（MD や TAPE（テープ））と CD 以外を録音ソースとして選ぶことができます。
いずれも、RI 端子のあるオンキヨー製機器で、表示名称を正しく設定する必要があります。（☞ 24 ページ）

曜日の設定

タイマーは 1 回だけ働く「Once（ワンス）タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Every（エブリィ）タイマー」があります。

また、Every タイマーには「Everyday（エブリディ）（毎日）」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer（タイマー）1 毎朝の目覚ましがわりに
タイマー Play（再生）—Every—Everyday（毎日）—7:00 ～ 7:30

Timer（タイマー）2 毎週のラジオ放送を録音
タイマー Rec(録音)—Every—Days（デイズ） Set（セット）—MON（マンデー）(月曜日) ～ SAT（サタデー）(土曜日)—15:10 ～ 15:30

Timer（タイマー）3 今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマー Rec(録音)—Once—SUN（サンデー）(日曜日)—10:00 ～ 12:00

ご注意

- TIMER（タイマー）ボタンを押すと現在使用中のタイマーは解除され、タイマーオフの時間になっても電源はスタンバイ状態になりません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。
- タイマー Rec（録音）中は、MUTING（ミューティング）機能が働いて音声がごく小さくなります。タイマー Rec 中に音声を聞くには、リモコンの MUTING ボタンを押してください。

タイマー表示について



タイマーが 1 つでも設定されていると、TIMER（タイマー）表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。␣ が点灯している数字はタイマー Rec が設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。

Timer（タイマー） 1　9：00 － 10：00
Timer（タイマー） 2　8：00 － 10：00

 優先 (タイマー開始時刻が早い方)

- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

Timer（タイマー） 1　12：00 － 13：00

 優先（タイマー番号が小さい方）

Timer（タイマー） 2　12：00 － 12：30

2 つのタイマーのオフ時刻とオン時刻を同時刻に設定した場合、1 つのタイマーが終了しても、もう 1 つのタイマーは動作しません。

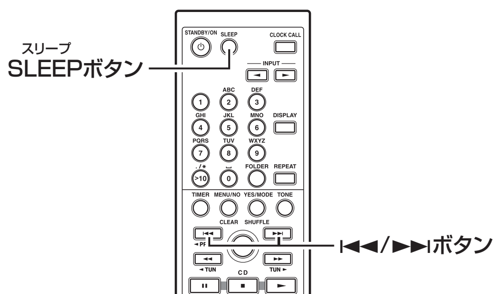
Timer（タイマー） 1　2：00 － 3：00
Timer（タイマー） 2　3：00 － 10：00

 (動作しない)

Sleep（スリープ）タイマーについて

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

Sleep（スリープ）タイマーを使う

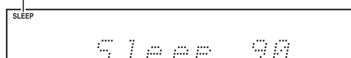




SLEEP（スリープ）ボタンを押す

SLEEP 表示が点灯し、表示部には「Sleep 90」と表示され、90 分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに 10 分単位で時間が短くなります。

SLEEP表示点灯



1 分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に、⏮/⏭ ボタンを押します。
1 ～ 99 分の範囲で設定することができます。設定した時間が約 8 秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEP ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が 10 分以下の表示のときに再び SLEEP ボタンを押すと SLEEP タイマーは解除されます。

Sleep タイマーを解除するには

「Sleep（スリープ） Off（オフ）」の表示が出るまで SLEEP ボタンを（くり返し）押します。

!ヒント

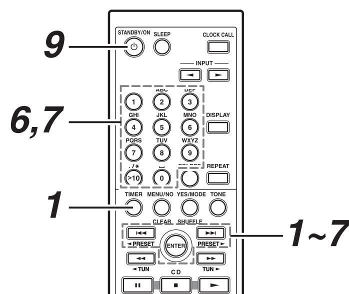
オンキヨー製カセットデッキや MD レコーダーと RI 接続して「CD ダビング」しているときにスリープタイマーの設定時間になった場合、「CD ダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前に CD ダビングを始めることができます。

タイマーを予約する

FM のタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞27、28 ページ)



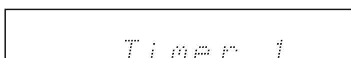
現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中 60 秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。



1



<タイマー番号の選択>

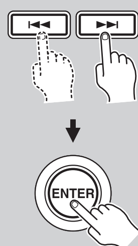


TIMER ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

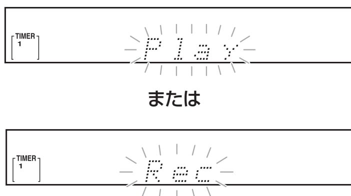
Timer 1 から Timer 4 のいずれかを選び、ENTER ボタンを押します。

「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。(☞ 45 ページ)

2



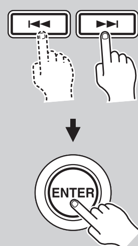
<タイマー種類の選択>



⏮/⏭ ボタンを押して、タイマー Play（再生）またはタイマー Rec（録音）を選ぶ

タイマーの種類を選び、ENTER ボタンを押します。
タイマー Rec は本機に接続しているテープデッキまたは MD レコーダーに録音されます。(☞ 17、18 ページ参照)表示名称も正しく設定しておいてください。(☞ 24 ページ)
録音中は、MUTING 機能が働きます。

3



<再生機器の選択>



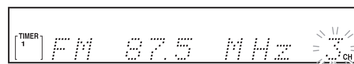
⏮/⏭ ボタンを押して、再生する機器を選ぶ

再生する機器を選び、ENTER ボタンを押します。
タイマー Rec(録音) の時は FM、DOCK、LINE 1、LINE 2、DIGITAL の中から録音ソースを選べます。

FM を選んだ場合

⏮/⏭ ボタンを押して、登録したチャンネルを選ぶ

登録したチャンネルを選び、ENTER ボタンを押します。



4



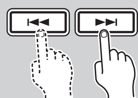
<録音機器の選択>（タイマー Rec 設定時のみ）

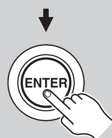


録音する機器が表示されるので、確認してから ENTER ボタンを押す

MD または TAPE のどちらか接続している機器が表示されます。
● 入力名称が正しくないと、表示されません。

5





＜曜日の設定＞



◀◀/▶▶ ボタンを押して、「Once（ワンス）」または「Every（エブリイ）」を選ぶ

「Once」を選ぶと 1 度だけ、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだら ENTER ボタンを押します。

「Once」の場合：設定した曜日に 1 度だけ働きます。



◀◀/▶▶ ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

「Every」の場合：設定した曜日に毎週働きます。

◀◀/▶▶ ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ MON ⇔ SUN　　　FRI ⇔ SAT ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）
〔Days Set：曜日の範囲をお好みで設定します。〕

「Days Set（ディズ セット）」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。







① ◀◀/▶▶ ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

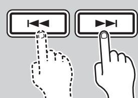
曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。

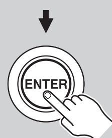
② ◀◀/▶▶ ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6





＜開始時刻の設定＞



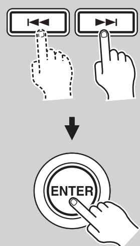
◀◀/▶▶ ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

時刻を表示させたら ENTER（エンター）ボタンを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29 を設定するには、7、2、9 と押します。
- am/pm 表示のときは、＞ 10 ボタンで am と pm が切り換わります。

!ヒント

- 開始時刻（On（オン））を設定すると終了時刻（Off（オフ））は自動的に 1 時間後の表示になります。
- 本機 MD にタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を 1 分程早めに設定してください。

7



＜終了時刻の設定＞

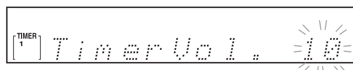


⏮/⏭ ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたら ENTER ボタンを押します。

8

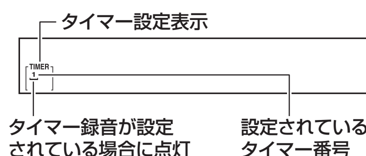
＜音量の設定＞（タイマー Play 設定時のみ）



⏮/⏭ ボタンを押して、音量を設定する

お買い上げ時の設定は 10 です。音量を表示させたら ENTER ボタンを押します。
通常使用している音量と同じ音量で再生したいときは ⏮ ボタンを押して「Timer Vol. off」にしてください。スタンバイする前と同じ音量で再生できます。

9



タイマー表示が点滅から点灯に変わる



＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ON ボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

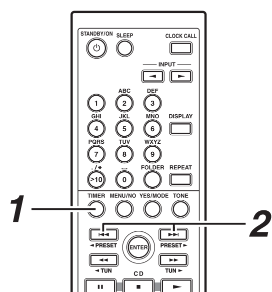


- CD のタイマー再生で、メモリー、ランダム、1 FOLDER モードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMER ボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマー Rec（録音）中は MUTING 機能が働いて音声がごく小さくなります。音声を聞くには、リモコンの MUTING ボタンを押してください。

タイマー予約をやり直したいときは…TIMER ボタンを押し、最初から設定してください。
タイマー予約を途中でやめるときは…MENU/NO/CLEAR ボタンを押してください。

タイマーの On（実行）/Off（取消）を切り換える

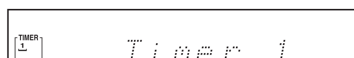
- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。



1

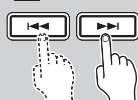


TIMER ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

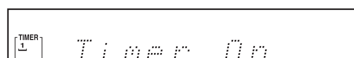


タイマー番号が点灯していたら、オン（実行）で設定されている状態です。

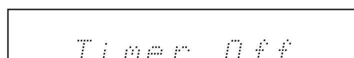
2



⏮/⏭ ボタンを押して、On（実行）/Off（取消）を切り換える

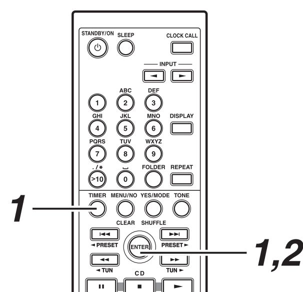


または



切り換えると数秒後にもとの表示に戻ります。

タイマー設定の内容を確認するには

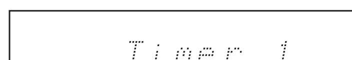


1



TIMER ボタンを（くり返し）押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTER ボタンを押す

ENTER



2



ENTER ボタンを（くり返し）押して、全ての設定の内容を確認する



!ヒント

- 確認中 ⏮/⏭ ボタンを押して、設定内容を変更することもできます。
- TIMER 設定が Off になっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定が On になります。
- すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。
- 通常の表示にするには MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。

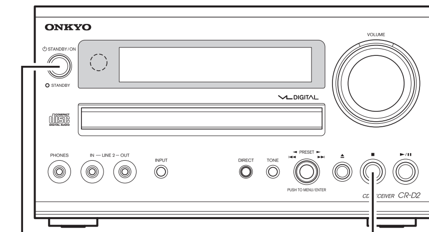
困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

!ヒント　**修理を依頼される前に**

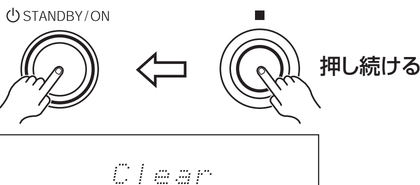
すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

本機が動作しなくなったり、操作ができなくなったときは、本機のマイコンをリセットしてすべての内容をお買い上げ時の設定に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。
修理を依頼される前に、下記の手順でマイコンをリセットしてみてください。



STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタン　　■（ストップ）ボタン

電源を入れた状態でボタン ■（ストップ）を押したまま、STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタンを押してください。



表示部に「Clear（クリア）」と表示されたあと、スタンバイ状態に戻ります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10 秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**(47 ページ)**
- タイマー再生、録音 **(48 ページ)** は終了時刻になるとスタンバイになります。
- STANDBY インジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。スピーカーコードのしん線部の＋、－が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？ **(14 ページ)**
- ボリュームが最小になっていませんか？
- INPUT は正しく選択されているか確認してください。
- "MUTING" と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンの MUTING ボタンを押して解除してください。**(25 ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(23 ページ)**

音が良くない / 雑音が入る

- スピーカーコードの＋ / －が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体の L 端子、右側のスピーカーは R 端子に接続してください。**(14 ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品がディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

LINE 2 IN 端子に接続した機器の音声が出ない、LINE 2 OUT 端子に接続した機器へ音が出ない

- LINE 2 IN/OUT 端子を逆に接続していませんか？ **(21 ページ)**
- PHONES 端子に間違って接続していませんか？
- 接続している機器の音量が小さくなっていませんか？

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない / ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。
- となりの LINE 2 IN 端子に誤って接続していませんか？

96kHz のデジタル入力に反応しない

- 対応するサンプリング周波数は、32kHz、44.1kHz、48kHz です。また対応する bit 数は、16bit、20bit、24bit です。96kHz、192kHz には対応していません。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後 10 ～ 30 分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD に関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- ディスクの置く位置を確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。

- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約1時間後に操作してください。(35ページ)

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。(41、42ページ)

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする / ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る / 1曲目を再生しない / 頭出しに通常よりも時間がかかる / 曲の途中から再生する / 再生できない箇所がある / 再生の途中で停止する / 誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

FM放送に関して

放送に雑音が入る /FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い / オートプリセットで放送局が呼び出せない"ST"表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。(15ページ)
- アンテナの位置を変えてみてください。(26ページ)
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。(29ページ)
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をお薦めします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常消えることはありません。万一、登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの◄TUN(I◄◄)/TUN►(►►I)ボタンを押して調整してください。(26ページ)

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。(13ページ)
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

接続している機器に録音ができない

- デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機のDIGITAL IN端子に接続する必要があります。接続が正しいか確認してください。(18、19ページ)

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。(17～20ページ)
- RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器の表示名称を設定してください。(24ページ)

接続した機器の音が出ない

- 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？
- 本機はPCM信号にしか対応していないので接続している機器のデジタル出力をPCMに設定してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。(45ページ)
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。(50ページ 手順 *9*)
- タイマー予約の時間が重なっているとはたらかないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。(46ページ)
- タイマー再生は適切な音量に調節しておいてください。(50ページ 手順 *8*)
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。(17～21、24ページ)
- MDにタイマー録音するには、録音可能なMDをRI接続したMDレコーダーにセットしておく必要があります。また、タイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので、録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。(45ページ)

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をするときにはあらかじめ正しく録音できることを確認の上、操作を行ってください。

機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約10秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

主な仕様

■総合

電源・電圧　AC 100V、50/60Hz
消費電力　80W
待機時電力　0.15W
最大外形寸法　205(幅) × 116(高さ) × 338(奥行)mm
質量　5.1kg
音声入力　デジタル　1（光）
　アナログ　LINE 1、LINE 2、DOCK（CDR)、MD（TAPE）
音声出力　デジタル　1（光）
　アナログ　DOCK（CDR)、MD（TAPE）LINE 2
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　2
　ヘッドホン　1

■アンプ部

定格出力　25W ＋ 25W（8 Ω、40Hz ～ 20kHz、全高調波歪率 0.5% 以下、2ch 駆動時）
　40W ＋ 40W（4 Ω、1kHz、全高調波歪率 0.5% 以下、2ch 駆動時）
実用最大出力　60W ＋ 60W（4 Ω JEITA）
全高調波歪率　0.08 %（1kHz 1W 出力時）
　0.5 %（40Hz ～ 20kHz 定格出力時）

ダンピングファクター　50（8 Ω）
入力感度 / インピーダンス　150mV/50k Ω（LINE 1）
出力電圧 / インピーダンス　150mV/2.2k Ω（REC OUT）
周波数特性　10Hz～60kHz/＋1dB、－3dB(LINE 1)
トーンコントロール最大変化量
　± 6dB、80Hz（BASS）
　± 8dB、10kHz（TREBLE）
　＋ 7dB、80Hz（S.BASS）
SN 比　100dB（LINE 1, IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　4 Ω～ 16 Ω

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

■チューナー部

＜ FM ＞
受信範囲　76.0MHz～90.0MHz、VHF 1ch、2ch、3ch ＊
受信感度　Stereo　22.2dBf（IHF）
　Mono　15.2dBf（IHF）
SN 比　Stereo　67dB（IHF-A）
　Mono　73dB（IHF-A）
歪率　Stereo　0.5%（1kHz）
　Mono　0.3%（1kHz）
ステレオセパレーション　40dB（1kHz）

＊地上アナログテレビ放送終了後は、VHF1ch、2ch、3ch の音声を聞くことはできなくなります。

■CD 部

周波数特性　4Hz ～ 20kHz
ダイナミックレンジ　96dB
全高調波歪率　0.005%
ワウ･フラッター　測定限界以下（± 0.001% W.PEAK）
音声出力電圧 / インピーダンス
　－ 22.5dBm（光デジタル出力）
　1.3V（rms）/1k Ω（アナログ出力）

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 CR-D2
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　（　　）
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

Y0807-1

SN 29344773
(C) Copyright 2008 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.

